令和 3 年度

工 事 設 計 書

岩手中部水道企業団

課 長	課長補佐	係 長	設計者	精算者					

着 手	期 日	自 年 月 日	摘要	単 独 【建設リサイクル法対象】 上段：当初設計 下段：変更設計
		自 年 月 日		
完 了		至 令和 4 年 2 月 15 日		歩 掛 適 用 ：岩手県令和02年10月下水道歩掛(R0304復興歩掛)
		至 年 月 日		基礎単価適用 ：令和03年07月01日付 公共
工 期 日 数		日		機械損料適用 ：令和02年10月01日付 公共機械損料
工 事 番 号		第 191 号		工 種 区 分 ：電気設備
				施工地域区分 ：補正なし
				前 金 払 い ：３５％を超える場合
				冬期労務補正 ： ％
施 工 場 所		花巻市石鳥谷町長谷堂第１地割地内 大興寺配水池ほか		契約保証補正 ：発注者が金銭的保証を必要とする場合

工 事 名	大興寺配水池計装盤ほか更新工事
設 計 金 額	金 円也
工 事 概 要	別紙のとおり

	名　　称	数　量	単　位	摘　　要
工事の概要	電気設備	1.0	式	大興寺配水池（計装盤、送水流量計）、銭根配水池（計装盤）
				和賀第一送水流量計、片寄配水池（圧力計）

本　工　事　費　内　訳　書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	明細単価番号	基準
電気設備	1	式				
【機器費】	1	式				
機器費(設計技術費対象)	1	式				
機器費（大興寺配水池）	1	式			明　1 号	
機器費（銭根配水池）	1	式			明　2 号	
機器費（和賀第一送水）	1	式			明　3 号	
機器費（片寄配水池）	1	式			明　4 号	
【据付工事】	1	式				
材料費	1	式				

岩手中部水道企業団

本　工　事　費　内　訳　書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	明細単価番号	基準
直接材料費	1	式				
直接材料費（大興寺配水池）	1	式			明　5 号	
直接材料費（銭根配水池）	1	式			明　6 号	
直接材料費（和賀第一送水）	1	式			明　7 号	
直接材料費（片寄配水池）	1	式			明　8 号	
補助材料費	1	式				
労務費	1	式				
電工		人				
電気通信技術者		人				

岩手中部水道企業団

本　工　事　費　内　訳　書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	明細単価番号	基準
電気通信技術者（単体・組合せ試験）		人				
直接経費	1	式				
機械経費(率化)	1	式				
仮設費(率化)	1	式				
仮設費	1	式				
仮設費（大興寺配水池）	1	式			明　13 号	
仮設費（銭根配水池）	1	式			明　14 号	
直接工事費計(据付工事)	1	式				
共通仮設費計	1	式				

本　工　事　費　内　訳　書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	明細単価番号	基準
共通仮設費(率化)	1	式				
共通仮設費率分	1	式				
純工事費	1	式				
現場管理費	1	式				
据付(技術者)間接費	1	式				
据付(機器)間接費	1	式				
据付工事原価	1	式				
設計技術費	1	式				
工事原価	1	式				

岩手中部水道企業団

本　工　事　費　内　訳　書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	明細単価番号	基準
一般管理費等	1	式				
工事価格	1	式				
消費税等相当額	1	式				
合計						

【 第　1 号 明細書 】

機器費（大興寺配水池）　　1　　式 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
大興寺配水池計装盤 屋内自立閉鎖形	1	面				
大興寺配水池送水流量計 電磁式（満水形）　φ250	1	組				
計						

【 第　2 号 明細書 】

機器費（銭根配水池）　　1　　式 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
銭根配水池計装盤 屋内自立閉鎖形	1	面				
計						

【 第　3 号 明細書 】

機器費（和賀第一送水）　　1　　式 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
和賀第１配水池送水流量計 電磁式（満水形）　φ100	1	組				
計						

【 第　4 号 明細書 】

機器費（片寄配水池）　　1　　式 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
片寄配水池圧力計 圧力式 スタンション取付	1	組				
計						

【 第　5 号 明細書 】

直接材料費（大興寺配水池）　　1　　式 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
ｹｰﾌﾞﾙ 600V CE/F(EM-CE) 2.0 sq - 3c	0.77	m				
ケーブル電線付属材料費率		%				
電線管（3.66m/本） G22	14.7	m				
電線管付属材料費率		%				
計						

【 第　6 号 明細書 】

直接材料費（銭根配水池）　　1　　式 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
ｹｰﾌﾞﾙ 600V CE/F(EM-CE) 2.0 sq - 3c	0.88	m				
ケーブル電線付属材料費率		%				
計						

【 第　7 号 明細書 】

直接材料費（和賀第一送水）　　1　　式 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
ｹｰﾌﾞﾙ 600V CE/F(EM-CE) 2.0 sq - 2c	237	m				
ｹｰﾌﾞﾙ 600V CEE/F-S(EM-CEE-S) 1.25 sq - 2c 銅テープ	3.19	m				
電　線　IE/F(EM-IE) 3.5 sq	5.17	m				
ケーブル電線付属材料費率		%				
電線管（3.66m/本） G22	18	m				
電線管付属材料費率		%				
計						

【 第　8 号 明細書 】

直接材料費（片寄配水池）　　1　　式 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
ｹｰﾌﾞﾙ 600V CEE/F-S(EM-CEE-S) 1.25 sq - 2c 銅テープ	3.19	m				
ケーブル電線付属材料費率		%				
電線管（3.66m/本） G22	4.73	m				
電線管付属材料費率		%				
計						

【 第　9 号 明細書 】

労務費（大興寺配水池）　　1　　式 当り

名　称　・　規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
電工		人				
電気通信技術者		人				
電気通信技術者（単体・組合せ試験）		人				
計						

【 第　10 号 明細書 】

労務費（銭根配水池）　　1　　式 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
電工		人				
電気通信技術者		人				
計						

【 第　11 号 明細書 】

労務費（和賀第一送水）　　1　　式 当り

名　称　・　規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
電工		人				
電気通信技術者		人				
電気通信技術者（単体・組合せ試験）		人				
計						

【 第　12 号 明細書 】

労務費（片寄配水池）　　1　　式 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
電工		人				
電気通信技術者		人				
電気通信技術者（単体・組合せ試験）		人				
計						

【 第 13 号 明細書 】

仮設費（大興寺配水池） 1 式 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
ｹｰﾌﾞﾙ 600V CV 2.0 sq - 3c	27.4	m				
ｹｰﾌﾞﾙ 600V CV 2.0 sq - 2c	18.3	m				
ｹｰﾌﾞﾙ 600V CVV-S 1.25 sq - 6c	9.13	m				
ｹｰﾌﾞﾙ 600V CVV-S 1.25 sq - 2c	45.7	m				
通信ｹｰﾌﾞﾙ FCPEV-S 0.9㎜ - 3P	9.13	m				
ケーブル電線付属材料費率		%				
波付硬質合成樹脂管 FEP 50	18.3	m				
電線管付属材料費率		%				
電工		人				

【 第　13 号 明細書 】　　（続　き）

仮設費（大興寺配水池）　　1　　式 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
電気通信技術者		人				
計						

【 第 14 号 明細書 】

仮設費（銭根配水池） 1 式 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
ｹｰﾌﾞﾙ 600V CV 2.0 sq - 3c	27.4	m				
ｹｰﾌﾞﾙ 600V CV 2.0 sq - 2c	18.3	m				
ｹｰﾌﾞﾙ 600V CVV-S 1.25 sq - 6c	9.13	m				
ｹｰﾌﾞﾙ 600V CVV-S 1.25 sq - 2c	45.7	m				
通信ｹｰﾌﾞﾙ FCPEV-S 0.9㎜ - 3P	9.13	m				
ケーブル電線付属材料費率		%				
波付硬質合成樹脂管 FEP 50	18.3	m				
電線管付属材料費率		%				
電工		人				

【 第　14 号 明細書 】　　（続　き）

仮設費（銭根配水池）　　1　　式 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
電気通信技術者		人				
計						

工事名	大興寺配水池計装盤ほか更新工事	(実施)・変更

施行条件明示一覧表

明示項目	明示事項	契約条件等
Ⅰ. 工程関係	1. 関連する他工事 有 ・ (無)	ア. 影響箇所 ( ) イ. 他の工事の内容 ( ) ウ. 開始又は完了時期 ( )
	2. 特定される施工時期等による制限 有 ・ (無)	ア. 工事内容 ( ) イ. 時期・時間 ( ) ウ. 施工方法 ( )
	3. 工事着手前の事前調査 有 ・ (無)	ア. 調査内容 ( ) イ. 調査期間 ( ) ウ. その他 ( )
	4. 設計工程上の休日日数等作業不能日数 (ｺﾞｰﾙﾃﾞﾝｳｨｰｸ、夏期、年末年始休暇を除く)	ア. 日 数 ( ) イ. その他 (
	5. その他(工事説明会) 有 ・ (無)	ア. 時期 ( ) イ. その他 ( )
Ⅱ. 諸官庁との協議関係	1. 関係機関等との協議 有 ・ (無)	ア. 工事内容 ( ) イ. 協議内容 ( ) ウ. 協議成立見込期間 ( ))
	2. 関係機関等協議結果による条件 有 ・ (無)	ア. 影響項目 ( ) イ. 影響範囲等 ( )
	3. その他( ) 有 ・ (無)	ア. ( ) イ. ( )
Ⅲ. 用地関係	1. 工事用地等の未処理による制限 有 ・ (無)	ア. 未処理箇所 ( ) イ. 処理見込時期 ( )
	2. 工事用地等の使用終了後の復旧条件 有 ・ (無)	ア. 内容 ( ) イ. その他 ( )
	3. 工事仮設道路等の借地指定 有 ・ (無)	ア. 場所・範囲 ( ) イ. 時期・期間 ( ) ウ. 使用条件 ( ) エ. 復旧方法 ( )
	4. 仮設ヤードの指定 (有 ・ (無)	ア. 場所・範囲 ( ) イ. 時期・期間 ( ) ウ. 使用条件 ( ) エ. 復旧方法 ( )
	5. その他( ) 有 ・ (無)	ア. ( ) イ. ( )
Ⅳ. 公害関係	1. 公害防止のための施工方法等の制限 (有) ・ 無	(ア) 騒音 (イ) 振動 (ウ) 粉塵 (エ) 排出ガス オ. その他 ( ) カ. 施工方法 ( ) (キ) 建設機械・設備 (排出ｶﾞｽ対策型建設機械を原則使用) (ク) 作業時間 (昼間)

工事名	大興寺配水池計装盤ほか更新工事	(実施)・変更

施行条件明示一覧表

明示項目	明示事項	契約条件等
Ⅳ. 公害関係	2. 水替・流入防止施設の設置 有 ・ (無)	ア. 施設内容 ( ) イ. 設置期間 ( )
	3. 濁水・湧水等の処理条件 有 ・ (無)	ア. 処理施設 ( ) イ. 処理条件等 ( )
	4. 事業損失防止のための事前・事後調査 有 ・ (無)	ア. 騒音 イ. 振動 ウ. 地盤沈下 エ. 地下水 オ. 電波障害 カ. その他 ( ) キ. 事前・事後調査区分 ( ) ク. 調査時期 ( ) ケ. 調査範囲 ( )
	5. その他( ) 有 ・ (無)	ア. ( ) イ. ( )
Ⅴ. 安全対策関係	1. 交通安全対策施設等の指定 (有) ・ 無	ア. 施設内容 ( ) (イ.) 設置期間 (作業時)
	2. 鉄道、ガス、電気、電話等の近接制限 有 ・ (無)	ア. 鉄道 イ. ガス ウ. 電気 エ. 電話 オ. 水道 カ. その他 ( ) キ. 施工方法制限 ( ) ク. 作業時間制限 ( ) ケ. その他 ( )
	3. 落石、雪崩、土砂崩壊等の防護施設 有 ・ (無)	ア. 施設内容 ( ) イ. その他 ( )
	4. 発破作業等の保安設備。要員の配置 有 ・ (無)	ア. 設備・要員内容 ( ) イ. 制限内容 ( )
	5. 換気設備等の設置 有 ・ (無)	ア. 有毒ガス イ. 酸素欠乏 ウ. その他 ( ) エ. 設備内容 ( )
	6. 積載超過防止対策 (有) ・ 無	(ア.) 土砂及び工事用資材等の積載超過の無いようにすること。 (イ.) 過積載を行っていると認められる資材納入業者から資材を購入しないこと。 (ウ.) 積載超過防止対策の方法を施工計画書「交通安全」等に記載するとともに、安全訓練等の実施状況に準じ点検記録を作成すること。 (エ.) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。 (オ.) 下請け契約の相手方又は資材納入業者の選定にあたっては、交通安全に関する配慮に欠ける者又は業務に関しダンプトラック等によって、悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。
	7. その他( ) 有 ・ (無)	ア. ( ) イ. ( )

工事名	大興寺配水池計装盤ほか更新工事	(実施)・変更

施行条件明示一覧表

明示項目	明示事項	契約条件等
Ⅵ. 工事用道路関係	1. 一般道路の搬入路使用 (有)・無	ア. 搬入経路指定 (　) (イ.) 使用制限等 (通行規制作業においては迂回路等関係者に周知徹底のこと) ウ. 処理方法 (　) エ. その他 (　)
	2. 仮道路の設置条件等 有・(無)	ア. 仮設道路設置 (　) イ. 安全施設内容 (　) ウ. 安全施設設置期間 (　) エ. 工事終了後の存置・撤去 (　) オ. 路面維持・補修内容 (　)
	3. その他(　) 有・(無)	ア. (　) イ. (　)
Ⅶ. 仮設備関係	1. 仮設備の引渡し・引継ぎ 有・(無)	ア. 仮設備内容 (　) イ. 引渡し・引継ぎ期間 (　) ウ. 条件等 (　)
	2. 仮設備の構造・施工方法の指定 有・(無)	ア. 構造等 (　) イ. 施工方法 (　)
	3. 仮設備の設計条件の指定 有・(無)	ア. 設計条件 (　) イ. その他 (　)
	4. その他(　) 有・(無)	ア. (　) イ. (　)
Ⅷ. 建設副産物関係	1. 建設発生土の利用 有・(無)	ア. 発生場所 (　) イ. 利用場所 (　)
	2. 残土受入場所の指定 有・(無)	ア. 場所・距離 (　) イ. 処分条件 (　) ウ. 仮置場・距離 (　) エ. 保管条件 (　) オ. その他 (　)
	3. 再生資材の利用 有・(無)	ア. 資材名 (　) イ. 規格 (　) ウ. 使用箇所 (　)
	4. 発生土の現場内再利用・減量化 有・(無)	ア. 再利用等の内容 (　) イ. 利用条件 (　) (　) (　) ウ. その他 (　)
	5. 発生路盤材の現場内再利用・減量化 有・(無)	ア. 再利用等の内容 (　) イ. 利用条件 (　) ウ. その他 (　)

工事名	大興寺配水池計装盤ほか更新工事	(実施)・変更

施行条件明示一覧表

明示項目	明示事項	契約条件等
Ⅷ. 建設副産物関係	6. 建設副産物の処理条件 有 ・ (無)	ア. 処理資材名 ( ) イ. 受入場所 ( ) ウ. 受入時間帯 ( ) エ. 仮置場所等 ( ) オ. 処理条件 ( ) カ. その他 ( )
	7. 建設廃棄物の処理条件 有 ・ (無)	ア. 処理資材名 ( ) イ. 受入場所 ( ) ウ. 受入時間帯 ( ) エ. 仮置場所等 ( ) オ. 処理条件 ( ) カ. その他 ( )
	8. その他(注意事項) ※ 再生資源化等をする施設については、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。 なお、請負者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。 ただし、現場条件や数量の変更等の、請負者の責によるものでない事項については、この限りではない。	
Ⅸ. 工事支障物件等関係	1. 占用支障物件 有 ・ (無)	ア. 電気 イ. 下水道 ウ. 電話 エ. 水道 オ. ガス カ. その他 ( ) キ. 管理者 ( ) ク. 位置 ( ) ケ. 移設時期 ( ) コ. 工事方法 ( )
	2. 占用物件との重複施工 有 ・ (無)	ア. 電気 イ. 下水道 ウ. 電話 エ. 水道 オ. ガス カ. その他 ( ) キ. 工事内容・期間 ( )
	2. その他( ) 有 ・ (無)	ア. ( ) イ. ( )
Ⅹ. 薬液注入関係	1. 薬液注入 有 ・ (無)	ア. 設計条件 ( ) イ. 工法・材料種類 ( ) ウ. 施工範囲等 ( )
	2. その他( ) 有 ・ (無)	ア. ( ) イ. ( )
ⅩⅠ. その他	1. 現場発生品の引渡条件 有 ・ (無)	ア. 引渡場所 ( ) イ. 引渡時間 ( )
	2. 工事写真の提出部数及び形式条件 (有) ・ 無	・特記仕様書に記載のとおり。 ・原本としては電子媒体とする。

工事名	大興寺配水池計装盤ほか更新工事	(実施)・変更

施行条件明示一覧表

明示項目	明示事項	契約条件等
ＸＩ．その他	3．留意事項 (有)・無	・安全管理、騒音対策の徹底をはかること。 ・周辺住民及び行事等には十分配慮すること。 ・写真管理、品質管理、材料検収等必要箇所については監督員の立会いを求め適切に管理、施工すること。 ・民地関係は特に注意し、事前に確認をとること。又、工事の際は、事前に地権者に日程、施工方法等の説明をすること。工事箇所に構造物があるときは、事前に所有者立会いの上写真を撮り、後に当該工事による破損等の疑義をかけられないようにすること。 ・現地詳細調査の上、施工計画を立てること。 ・CORINS登録を行うこと。 ・仮設備等の現場環境改善及び地域とのコミュニケーションの向上に努めること。 ・仮設、切替方法については浄水場運転管理者と協議すること。

上記明示項目、明示事項の〇印該当欄は、工事施工にあたって制約を受けることになるので、参考のため条件を明示する。
なお、明示条件に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と協議し、適切な措置を講ずるものとする。

大興寺配水池計装盤ほか更新工事

特　記　仕　様　書

岩手中部水道企業団

目　　次

第１章　総　　則 ･･･ 1

第１節　一般事項 ･･･ 1

第２節　機器一般事項 ･･･ 7

第３節　工事一般事項 ･･･ 9

第２章　特記仕様（大興寺配水池） ･･･ 13

第１節　電気設備 ･･･ 13

第３章　運転操作方案（大興寺配水池） ･････････････････････････････････････ 16

第４章　特記仕様（銭根配水池） ･･･ 19

第１節　電気設備 ･･･ 19

第５章　運転操作方案（銭根配水池） ･････････････････････････････････････ 22

第６章　特記仕様（和賀第１送水） ･･･ 24

第７章　特記仕様（片寄配水池） ･･･ 25

第１章　総 則

第１節　一般事項

１．適用範囲

本標準仕様書（以下「仕様書」という）は、岩手中部水道企業団（以下「甲」という）で施工する工事に適用する。

２．関連法規及び規格

本工事において準拠すべき基準及び規格は次のとおりとする。

１）水道施設設計指針（日本水道協会）
２）中小規模水道施設機械・電気設備設計要領（日本水道協会）
３）水道施設耐震工法指針・解説（日本水道協会）
４）水道施設更新指針（日本水道協会）
５）水道維持管理指針（日本水道協会）
６）機械設備工事共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部）
７）機械設備工事施工管理指針（国土交通省大臣官房官庁営繕部）
８）電気設備工事共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部）
９）電気設備の技術基準（経済産業省令）
10）機械・電気設備設計基準（日本下水道事業団）
11）機械・電気設備工事必携（日本下水道事業団）
12）機械・電気設備施工指針（日本下水道事業団）
13）下水道施設の耐震対策指針（下水道協会）
14）内線規定（電気技術基準調査委員会）
15）日本産業規格（ＪＩＳ規格）
16）電気学会電気規格調査会標準規格（ＪＥＣ規格）
17）（社）日本電機工業会標準規格（ＪＥＭ規格）
18）その他関係法令、条例、規則

３．疑義の解釈

仕様書及び設計図書において疑義を生じた場合の解釈及び本工事の細目については、工事を担当する甲の監督職員（以下「監督員」という）の指示に従わなければならない。

４．本工事にあたって以下のことを考慮する。

１）本工事対象の施設は現に稼働している施設であり、送水及び配水等に悪影響を与えないよう工夫して工事を行うこと。
２）請負業者は、現在稼働している施設と整合性を図り、円滑に上水道施設運転管理できるようにすること。

５．書類の提出

請負者（以下「乙」という）は、この工事の施工に伴い、次の書類を甲に提出しなければならない。尚、提出部数等は監督員の指示に依るものとする。

なお、書類は、工事打合せ簿を添付のうえ、２部提出すること。ただし企業団様式があるものに関してはこの限りでない。

１）着工時

工事工程表

現場代理人届及び同経歴書

主任技術者届及び同経歴書

２）工事中　　工事打合せ簿を添付のうえ２部提出

施工計画書

実施工程表	施工計画書に変更があればそのつど
職務分担届	施工計画書に添付
安全、衛生対策関係書類	施工計画書に添付
緊急連絡先届	施工計画書に添付
主要機器製作業者承認願	そのつど
主要材料製造業者承認願	そのつど
下請業者承認願	必要があればそのつど
機器設計製作図の承認願	そのつど
施工設計図の承認願	そのつど
工事材料承諾願い	そのつど
工事打ち合わせ議事録	そのつど
工事旬報	工事日報をまとめたもの１０日毎
事故発生報告書	そのつど
製品検査願	そのつど

３）完成時

工事完成届	工事完成日
工事完成図書	竣工検査日
工事記録写真	竣工検査日
検査試験成績表	竣工検査日
引渡書	竣工検査完了日

４）その他、監督員が必要と認め指示するもの。

６．承認図書

５．２）に掲げる承認図書の作成は、次の要領によるものとする。

１）機器設計製作図の承認願に関するもの。

（１）機械設備機器

機器製作仕様書、外形図、

性能特性データ表

（２）電気設備機器

機器製作仕様書、外形図、盤内器具配置図

単線接続図、三線接続図、展開接続図

（３）共通事項

付属品一覧表、その他必要とする図面

２）施工設計図の承認願に関するもの

機器配置平面図及び断面図又は側面図、機器据付、基礎図

配管詳細図、負荷動力線、制御線、計装線の各配線図

その他必要とする図面

３）製作の着手

乙は、契約後速やかに機械設備工事仕様書及び本特記仕様書、設計図書に基づき承認図を作成し、監督員の承認を得ること。この承認を得た後でなければ製作に着手してはならない。

また、本設備の機器が制作者固有の設計による製品で、本仕様書及び添付図と異なるときは事前に申し出て、監督員の承認を得なければならない。

但し、仕様書及び設計図書に記載している機器と同等以上の機能及び性能を有するものであること。

７．完成図書

５．３）に掲げる完成図書の作成は、次の要領によるものとする。

１）完成図書　３部（電子データ含む）

完成図、工事写真、施工管理表、機器取扱説明書、検査試験成績表、

保証書、マニフェスト、アフターサービス連絡表、その他必要とする図書

２）　運転操作に関する説明書　３部

３）　官公庁等手続書類又はその写し

８．工事カルテ作成、登録

乙は、受注時又は変更時において工事請負代金が500万円以上の工事について、工事実績情報サービス(CORINS)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から10日以内に、完成時は工事完成後10日以内に、訂正時は適宜

登録機関に登録申請しなければならない。（ただし、工事請負代金500万円以上2,500万円未満の工事については、受注・訂正時のみ登録するものとする。）

また、(財)日本建設情報総合センター発行の「工事カルテ受領書」の写しを監督員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

９．工事施工

１）乙は、監督員と設計、施工について打ち合わせのうえ承認図書を作成し、承認を得てからでなければ、施工に着手してはならない。また、据付配管施工に関しては水道施設耐震工法指針・解説および建築設備耐震設計・施工指針に準拠した施工方法を行わなければならない。なお、機器等の据付に関しては、事前にアンカー等の据付安定計算を行い、計算書ならびに施工方法をしめした承認図を提出すること。

２）乙は、工事着手に先立ち、工事内容を十分に把握し、さらに現地の状況、関連工事、その他について綿密な調査を行い、施工計画を策定すること。

３）資格を必要とする作業は、それぞれの資格を有するものが施行しなければならない。

４）乙は、工事の施工にあたって付近の居住者に迷惑のかからぬよう、公害の防止に努めなければならない。

５）既設構造物を汚染もしくはこれらに損傷を与えた時は、乙の責任において復旧しなければならない。

６）工事の完了時、乙は速やかに不要材料及び仮設物を処分もしくは撤去し、清掃処理しなければならない。

10．検　　査

検査は、次の各項目について行うものとする。

尚、これに要する費用は、乙の負担とするが、工場立会検査のための検査員派遣費用は除外とする。

１）工場立会検査

この工事に使用する機器のうち、監督員が必要と認めるものについては、製作完了時当該工場において監督員の立会検査を行う。

尚、検査の有無にかかわらず監督員の指示する主要機器、材料については、全ての社内試験成績表を提出するものとする。

２）中間検査

工事段階の区切り、工事完了後では検査できない部分等、監督員が必要と認めるものについては、甲の検査を行うものとする。

３）竣工検査

工事完了にあたっては、甲の規定に基づき竣工検査を行うものとする。

11．請負者の負担

次の事項に要する費用は、乙の負担とする。

1）軽易な事項で、設計図書に示されていない事項であっても、工事施工上当然必要と認められるもの。

2）各種の試験、検査および施工管理に要する費用。

3）関係諸官庁、電力会社、ＮＴＴ等に対する一切の諸手続き等に要する資料作成及びその費用。

12．施行の保証

最終年度工事引渡完了後、１ケ年を総合試運転並びに調整期間とし、調整期間終了後１ケ年を保証期間とする。

なお、受電開始時までは、現地据付済み各機器、盤に係わる湿気対策等を講じるものとする。

保証期間中に乙の責任と見なされる原因によって故障等の不具合が生じた場合、乙はその責任と負担により、補修、取り替え、その他必要な処置を施すものとする。

最終年度工事引渡完了後、20年間は部品供給を可能なものとする。

13．製造業者

この工事で使用する機器及び材料について乙は、事前に甲へ製造業者リストを提出し、甲の承認を受けた後に当該製品を使用するものとする。

14．施設の使用

1）乙が工事を行うため直接または間接的に浄水場内の施設（以下「施設」という。）を使用する場合は、その使用範囲、目的、期間等について、事前に監督員に承認を受けること。

2）乙が施設を使用する場合は、乙の責任において使用すること。

3）工事の引き渡し完了まで工事対象物の材料及び機器の保管責任は乙とする。

4）工事が完了したときは、乙が速やかに不要材料及び仮設物を処分もしくは撤去、清掃しなければならない。

15．保安及び衛生管理

1）乙は、工事の施工にあたって、常に細心の注意をはらい、労働安全衛生法規を遵守し、公衆及び作業員の安全を計らなければならない。

2）工事中は、所要の人員を配置し、現場内の整理整頓及び保安に努めなければならない。

3）重要な既存施設に近接して工事を施工する場合は、あらかじめ保安上必要な措置、緊急時の応急措置及び連絡方法等について監督員と協議し、これを厳守しなければならない。

4）石油類、薬品類、電気等の危険物を使用する場合は、保安及び取扱いについて十分注意し、関係法令の定めるところに従い、万全の方策を講じなければならない。

5）工事現場への一般の立入、または、試験等の関係者以外の立入を禁止する必要がある場合は、監督員の承諾を得て、その区域への適当な柵を設けると共に、立入禁止の表示をしなければならない。

6）工事現場の秩序を保つと共に、火災、盗難等の事故防止に必要な措置を講じなければならない。

16. 施工上の注意点

1）乙は浄水場という認識を持ち、材料及び工具の整理整頓に努めること。

2）材料及び工具は十分に油抜き洗浄し、油類の管理を徹底すること。

3）作業するときは服装を整え、施設に入る際は必ず長靴等を洗浄すること。

4）作業時間は原則として、平日の午前8時30分から午後5時00分までとする。

5）所定の場所以外は禁煙とする。

第２節　機器一般事項

１．電気設備

１）規　　格

本工事に使用する機器は、ＪＩＳ、ＪＥＣ、ＪＥＭの各規格に準拠するものとする。

２）単　　位

単位は全てメートル法に依るものとする。

３）受電および配電方法

受電および配電方法は、設計図面並びに特記事項に示すとおりとする。

４）塗　　装

機器の塗装はフレーム部とし、その他鉄部分は十分な下地処理を行ったうえ下地塗装を行い、特に正面に露出する部分は、下塗り１回、仕上げ塗り２回を施すこと。塗料は耐火、耐水、耐酸性に優れたものを利用し、長期間の使用に耐えられるものとする。塗色は、特に指定するもの以外はＪＥＭ１１３５（配電盤、制御盤およびその取付器具の色彩）を基準とする。

５）周波数

本地域は50Hzにつき、定格周波数を50Hzとする。

６）製作中の連絡

納入機器の製作者が複数に渡る場合には、各製作者相互に密接な連絡を取り合い、全体として完全な機能を発揮できるものを納入するものとする。

２．制御盤

１）構　　造

金属外箱および主要構造材料は、収納機器の重量、作動による衝撃などに十分耐える強度を有するものとする。

２）主 回 路

主回路に用いる母線および接続導体は銅を使用し、規定の条件の下に定格電流及び定格短時間電流を流しても充分これに耐えるものとする。

絶縁電線を用いる場合は原則として６００Ｖ耐熱性ポリエチレン絶縁電線ＩＥまたは電気機器用の難燃性を有するものまたは、同等品以上のものを使用すること。

３）制御回路

（１）制御回路に用いる電線は原則として６００Ｖ耐熱性ポリエチレン絶縁電線ＩＥとし、断面積が１．２５㎜2以上を有し、かつ可動部は充分可とう性があるものを使用すること。

ただし、電流容量、電圧降下などに支障がなく保護協調がとれれば細い線を使用してもよい。

（２）電線被覆の色別は下記の色別を行う。

計器用変圧器二次回路・・・・・・・・黄
計器用変流器二次回路・・・・・・・・黄
変流器二次回路・・・・・・・・・・・・・・黄
交流制御回路・・・・・・・・・・・・・・・・黄
接地回路・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・緑

４）制御電源

（１）三相交流　　２１０Ｖ（ただし、機器の定格は200Vとする。）
（２）単相交流　　１０５Ｖ（ただし、機器の定格は100Vとする。）
（３）無停電電源　　機器の必要性に応じてバッテリー機能をもたせるものとする。

３．荷造、輸送

１）荷造は厳重に施し、防湿を完全に行い天地無用の品にはその旨を明記し、転倒防止の措置を講じることとする。

また、予備品は長期の保存に適するよう必要な部分には錆止めを施し、ビニル等にて包装、荷造を行い、外部には内容品名、数量を明記し、保管上の注意事項を付記するものとする。

２）運搬途中における一般公共物等に与えた損害は、一切乙の負担にて処理すること。

４．予備品および付属品

本工事にて設備する各機器、装置、盤類に関する予備品および付属品は、次のとおりとする。

また、本仕様書に記載されていない予備品、付属品および部品において、１ケ年以内に消耗すると思われるものについては、１ケ年分を供給することとする。

１）盤関係

ランプ類　　１００％（ＬＥＤは各一個）
ランプ用グローブ　　１０％
ヒューズ類　　１００％

２）計器関係

ランプ類　　１００％（ＬＥＤは各一個）
ヒューズ類　　１００％

３）その他打ち合わせにて決定したもの

第３節　工事一般事項

１．機器搬入、据付

１）現地搬入に際しては、あらかじめ監督員と十分な協議を行い、監督員指示の場所に納入すること。

２）据付現場における荷降ろしに際しては、細心の注意をはらって作業すること。また、その際機器に対し傷の付かないよう十分な処置を施すこと。

３）基礎および据付用の架台または取付ボルト等は、各機器の重量、構造および取付面の構造を十分考慮し、その形状等を決定すること。なお、基礎の表面はモルタル塗りとし、据付面は水平に仕上げること。

４）各機器の据付に当たっては、基礎上の所定位置にライナー等で調整を行い水平または垂直に据付けること。

５）アンカーボルトは埋込式を標準とする。やむを得ない場合はメカニカルアンカーおねじ形とする。

６）基礎ボルト穴のコンクリート詰めおよび基礎の仕上げは、原則として本工事で行うこと。

７）基礎工事が別途工事の場合は、基礎ボルト穴の個数、位置、大きさ、深さ等を記入した施工図を監督員に提出しなければならない。

２．配管工事

１）配管路は必要に応じて、伸縮管、ドレン管、空気抜き、バイパス管等を設ける。

２）管理上取外しの必要のあると思われる箇所には、ユニオン、フランジ継手を設ける。

３）冬期に凍結の恐れのある配管は、保温材を巻く等、必要な処置を講ずること。

４）配管の必要個所には十分な強度を有する支持金具を設けること。

５）弁類等必要個所には、開閉等の状態表示板を付けること。

３．電気工事

１）屋内配線工事

（１）末端処理等

公称面積が１４mm2以上の低圧動力ケーブルの末端処理は、ＪＣＭＳ規格の材料を用いて行なうこと。

制御ケーブルの末端処理はテーピングによるものとし、各端子へのつなぎ込みは圧着端子で行なうこと。各心線には端子記号と同一マークを刻印したマークバンドを付けると共に、ケーブルにはケーブル記号を記したバンドまたは札をシースに付けること。

（２）ケーブルと機器の接続

配電盤に引込むケーブルは、適切な支持物に堅固に固定し、接続部に過大な応力がかからないようにするものとする。

（３）電路とその他のものとの離隔

①　低圧ケーブルまたは低圧ケーブルを収納した電路は、弱電流電線等と接触しない

ように施工するものとする。

② 低圧ケーブルと弱電流電線を同一金属ダクト、ケーブルラック、ピットに収納して配線するときは隔壁を設けるものとする。

③ 低圧屋内ケーブル、管灯回路の配線、弱電流電線または水管、もしくはこれらに類するものとは、十分離隔する。

（４）金属管工事

配管の布設は下記によること

① 管の埋込みまたは貫通は監督職員の指示に従い、建造物の構造および強度に支障がないように行なう。

② 電線管の埋込配管は曲がりを最小にし、管の配列接続、埋設深さ等については、図面および仕様書による。

③ 配管に１区間が３０ｍをこえる場合または、技術上必要とする箇所またはプルボックスを設けるものとする。

（５）可とう電線管工事

① 管の曲げ半径は、管内径の６倍以上とし、管内の電線が容易に引替えることができるようにする。但し、やむをえない場合は、監督職員の承認を受けて、管内径の３倍以上とすることができる。

② ボックスとの接続には適当なコネクタを使用し、堅固にとり付けること。

③ 可とう電線管を他の金属管などと接続する場合は、適当なコネクタにより、機械的・電気的に完全に連絡するものとする。

④ 管の端口には電線の被服を損傷しないよう絶縁ブッシングまたはコネクタ等を使用するものとする

（６）金属ダクト工事

① 金属ダクトは突合せを完全にし、ボルト等により機械的に堅固に接続する。また、ダクトの相互間を除く他の部分は軟銅線により電気的に完全に接続する。その接続は、無はんだ接続とする。

② ダクト内から電線を外部に引出す部分は金属配線または可とう電線管によること

③ ダクトが床または壁を貫通する場合は、貫通部分でダクト相互またはダクトとプルボックス等の接続を行なってはならない。

④ ダクトのふたに電線の重量がかからないようにすること。

⑤ ダクト内の電線は各回線ごとにひとまとめにし、電線支持物の上に整然と並べ、ほう縛材料で堅固に止め付けるものとする。

２）接地工事

（１）接地工事の種類と接地抵抗値

接地工事の種類と接地抵抗値は内線規定に準拠するものとする。

（２）共同接地

図面または仕様書に記載のない場合は以下によるものとする。

① 各種接地工事は、種別毎に共同接地すること。

② 規定の接地抵抗値を得られない場合は、補助接地極を使用する。

③ 高圧ケーブル及び制御ケーブルの金属遮蔽体は配電盤または機器側の一箇所で接地する。

④ 接地線は、電力ケーブル、制御ケーブルなどとなるべく離隔する。

⑤ 接地誘導線と被接地工作物、接地導線相互の接線は、はんだ揚げ接続をしてはならない。

（３）各接地と避雷針、避雷器の接地との離隔

接地極及びその裸導線の地中部分は避雷針、避雷器の接地極および裸導線の地中部分と２ｍ以上離す。但し、現場の状況により前記のとおり施工できない場合は監督職員の指示により１．５ｍ以上とすることができる。

（４）接地極位置などの表示

接地種別、接地極の埋設位置、深さ、埋設年月を明示する標注又は表示板を接地極の埋設位置近くの適当な箇所に設ける。なお、種別毎の接地抵抗値を容易に計測できる様に接地端子盤を設けること。

３）ケーブルの種類及び太さ

ケーブルの種類及び太さは図面または機器仕様のとおりとするが、特に記載のない場合は以下によること。

（１）低圧ケーブルについては断面積２ｍｍ2以上の架橋ポリエチレン絶縁耐熱性ポリエチレンシースケーブル（ＣＥ）を使用すること。

（２）一般制御用ケーブルについては断面積１．２５ｍｍ2以上の制御用ポリエチレン絶縁耐熱性ポリエチレンシースケーブル（ＣＥＥ）を使用すること。

（３）計装信号用ケーブルについては断面積１．２５ｍｍ2以上の制御用ポリエチレン絶縁耐熱性ポリエチレンシースケーブル（ＣＥＥ）を使用することを原則とする。但し、誘導を受ける恐れのある場合では同断面積の遮蔽付ケーブルを使用すること。

４．安全管理

１）乙は、工事に従事する作業者の安全と健康を確保し、工事作業の安全を確保し、現場を管理し、労働災害の防止に努めること。

２）乙は、安全管理者を設け、労働基準法・労働安全衛生法等を遵守すること。

３）乙の、安全管理者は、安全集会、安全管理項目検討等を実施すること。

４）乙は、作業班ごとに安全衛生リーダーを選任し、安全衛生管理推進に努めること。

５）乙は、当日の作業内容を把握し、作業員全体の作業内容を把握すること。

６）乙は、作業範囲について、事前に作業上危険な個所の点検を行い、事故の防止に努めること。

７）乙は、毎日作業員にＫＹ等、安全教育を実施し、周知徹底を図ると共に、作業中は常に安全第一で作業を行うこと。

８）乙は、新規入場者に対して、安全衛生の重要性を教育すること。

９）乙は、月一回安全協議会を開催し、安全への意識向上をはかること。

10）安全作業の障害となる事態が生じたときは、速やかに対策をとると共に、甲に報告すること。

第２章　特記仕様

第１節　電気設備

１．概　　要

本設備は大興寺配水池の計装盤及び送水流量計を更新する工事である。

２．設備機器

１）大興寺配水池計装盤　　１面

２）大興寺配水池流量計　　１組

３．工事範囲

１）２．項記載機器の設計・製作及び据付工事

２）２．項記載機器の配線配管接続工事

３）その他上記に関する諸工事

４．機器仕様

１）大興寺配水池計装盤

数　　量　　１面

形　　式　　屋内自立形

寸　　法　　設計図書を参照し、承認図にて決定する。

盤内収納器具

（１）配線用遮断器　3P100AF	１個
（２）配線用遮断器　3P50AF	１個
（３）配線用遮断器　2P50AF	２個
（４）漏電遮断器　2P50AF	２個
（５）電磁接触器	４個
（６）熱動継電器	２個
（７）単相変圧器　1φT　1kVA　210/105V	１台
（８）補助継電器類	１式
（９）流量調節用コントローラ	１式
(10) アイソレータ	３個
(11) DC24V電源装置	１台
(12) テレメータ（子局）取付スペース（既設移設）	１式
(13) 流量変換器取付スペース	１式
(14) その他必要なもの	１式

盤面取付器具

（１）名称銘板	１式
（２）集合状態表示灯	１式
（３）集合故障表示灯	１式
（４）縦形指示計	３個
（５）流量調節計	１個
（６）積算カウンタ	１個
（７）切換スイッチ（２点用）	１個
（８）操作スイッチ（２点用）	２個
（９）操作スイッチ（３点用）	２個
(10) 表示灯（赤、緑）	３組
(11) 表示灯（赤、緑、赤）	１組
(12) 押釦スイッチ	１個
(13) その他必要なもの	１式

２）大興寺配水池送水流量計

数　　量　　１組

形　　式　　電磁式（満水形）

口　　径　　250φ

精　　度　　±0.5%F.S

測定対象　　浄水

取付方式　　フランジ取付

機器構成

（１）検出器　　１台

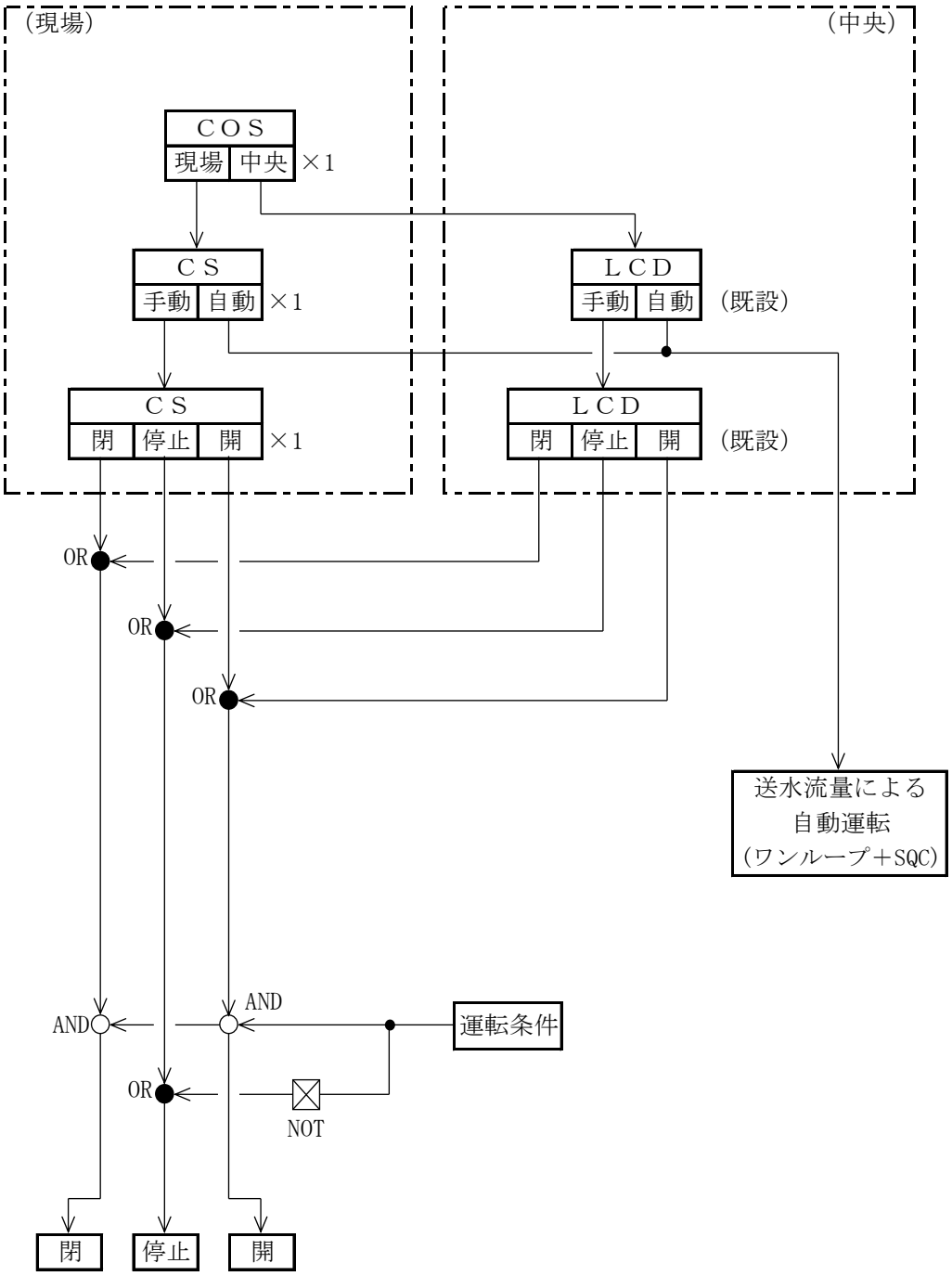
（２）変換器　　１台

（３）その他必要なもの　　１式

第３章　運転操作方案

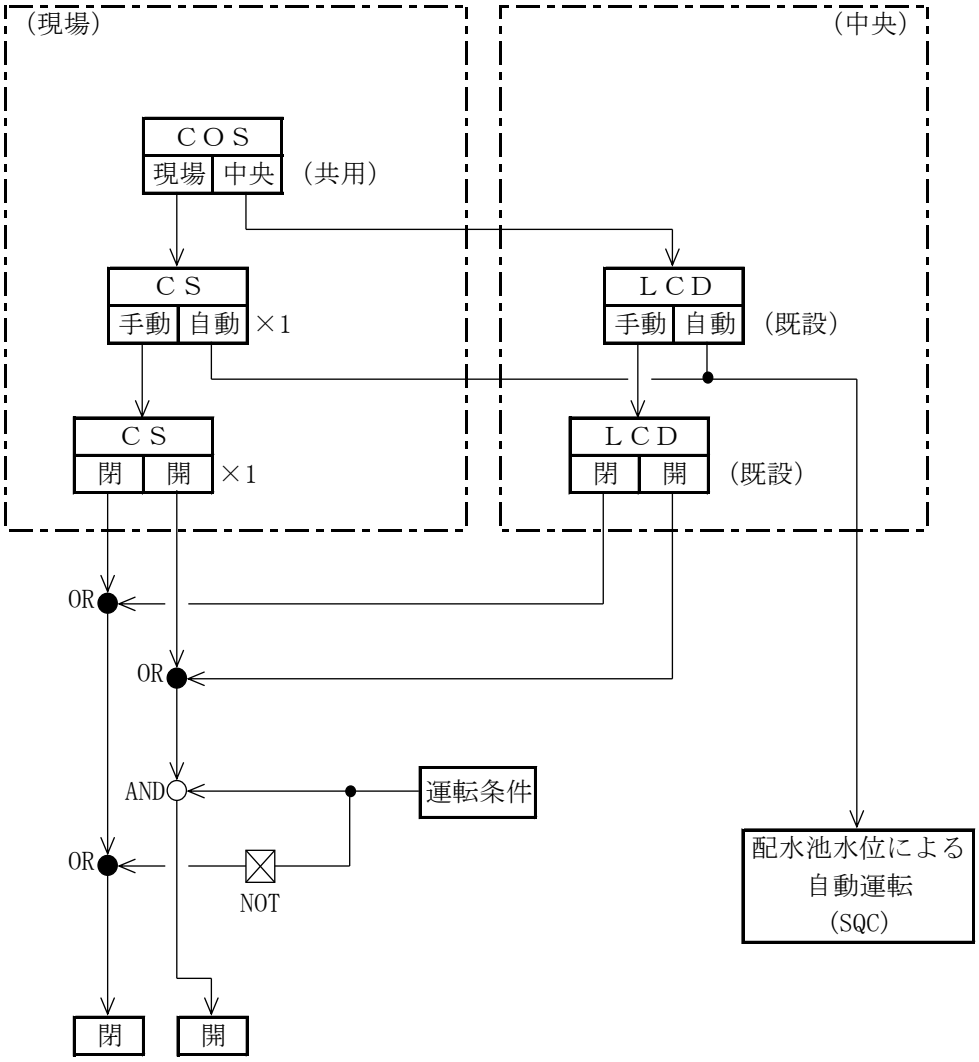
次頁に本配水池の運転操作方案を示す。

設　備　名　称	大興寺配水池			容量	0.2　kW
機　器　名　称	配水池流入調節弁	既設　1　台	今回　1　台	全体　1　台	



運転条件
１．保護Ry動作中でない。（ELCB，THR）
２．過トルクでない。

設　備　名　称	大興寺配水池			容量	1.5　kW
機　器　名　称	流入仕切弁	既設　1　台	今回　1　台	全体　1　台	



運転条件
１．保護Ry動作中でない。（ELCB，THR）
２．過トルクでない。

第４章　特記仕様

第１節　電気設備

１．概　　要

本設備は銭根配水池の計装盤を更新する工事である。

２．設備機器

１）銭根配水池計装盤　　１面

３．工事範囲

１）２．項記載機器の設計・製作及び据付工事

２）２．項記載機器の配線配管接続工事

３）その他上記に関する諸工事

４．機器仕様

１）銭根配水池計装盤

数　　量　　１面

形　　式　　屋内自立形

寸　　法　　設計図書を参照し、承認図にて決定する。

盤内収納器具

（１）配線用遮断器　3P100AF	１個
（２）配線用遮断器　3P50AF	１個
（３）配線用遮断器　2P50AF	２個
（４）漏電遮断器　2P50AF	２個
（５）電磁接触器	４個
（６）熱動継電器	２個
（７）単相変圧器　1φT　1kVA　210/105V	１台
（８）補助継電器類	１式
（９）流量調節用コントローラ	１式
(10) アイソレータ	３個
(11) DC24V電源装置	１台
(12) テレメータ（子局）取付スペース（既設移設）	１式
(13) 流量変換器取付スペース	１式
(14) その他必要なもの	１式

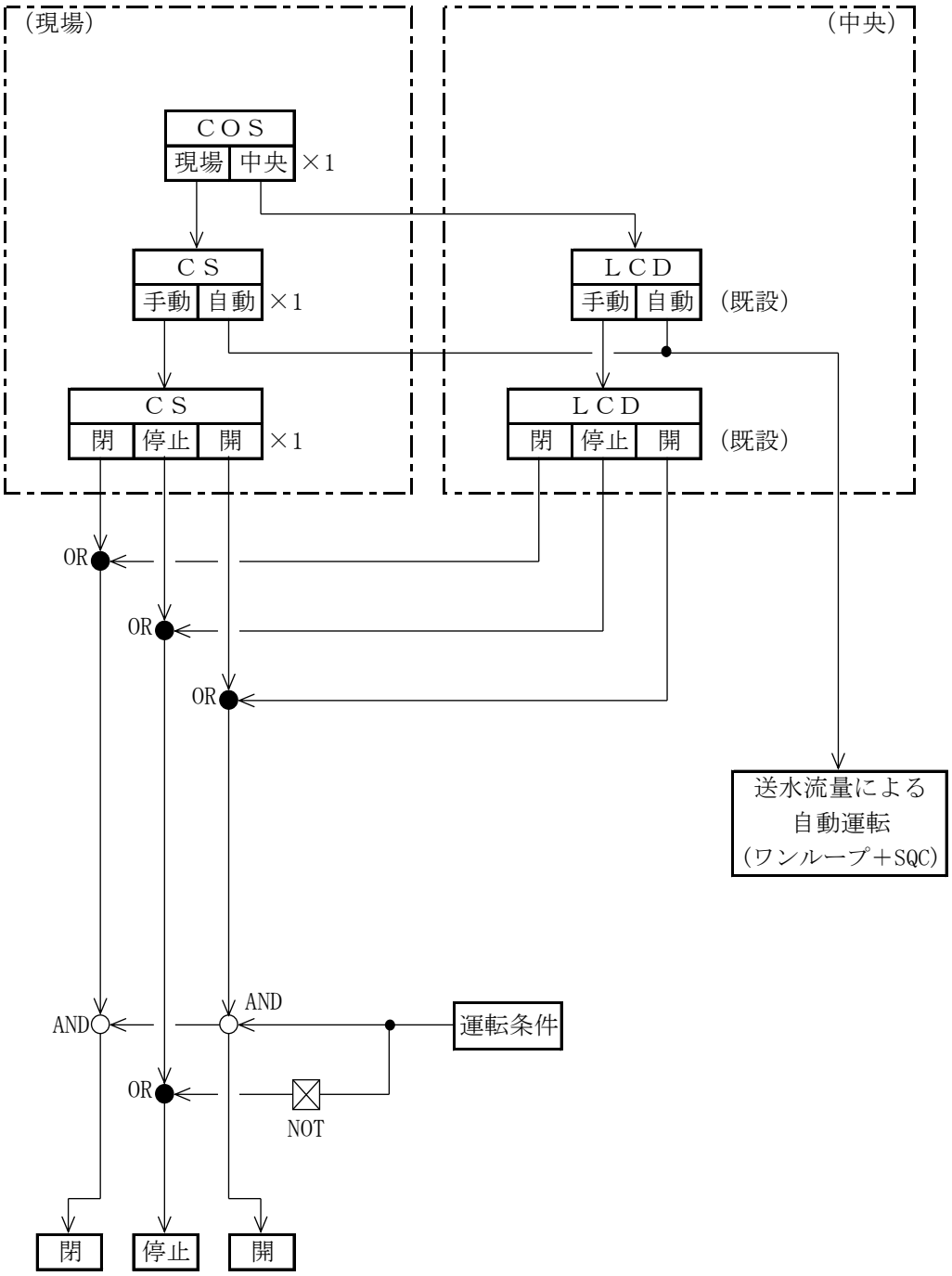
盤面取付器具

（１）名称銘板	１式
（２）集合状態表示灯	１式
（３）集合故障表示灯	１式
（４）縦形指示計	３個
（５）流量調節計	１個
（６）積算カウンタ	１個
（７）切換スイッチ（２点用）	１個
（８）操作スイッチ（２点用）	２個
（９）操作スイッチ（３点用）	２個
(10) 表示灯（赤、緑）	３組
(11) 表示灯（赤、緑、赤）	１組
(12) 押釦スイッチ	１個
(13) その他必要なもの	１式

第５章　運転操作方案

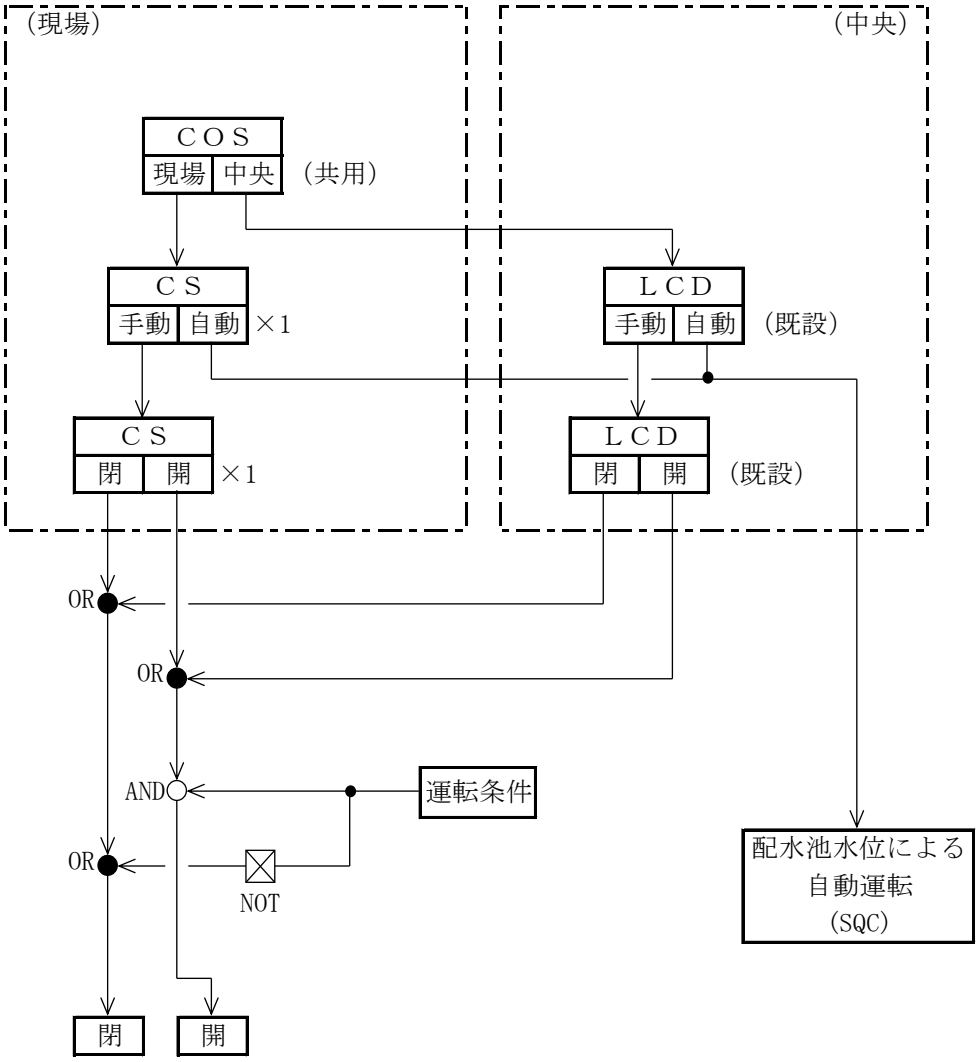
次頁に本配水池の運転操作方案を示す。

設　備　名　称	銭根配水池			容量	0.2　kW
機　器　名　称	配水池流入調節弁	既設　1　台	今回　1　台	全体　1　台	



運転条件
１．保護Ry動作中でない。（ELCB，THR）
２．過トルクでない。

設　備　名　称	銭根配水池			容量	1.5　kW
機　器　名　称	流入仕切弁	既設　1　台	今回　1　台	全体　1　台	



運転条件
１．保護Ry動作中でない。（ELCB，THR）
２．過トルクでない。

第６章　特記仕様

第１節　電気設備

１．概　　要

本設備は中部浄水場の和賀第１配水池送水流量計を更新する工事である。

２．設備機器

１）和賀第１配水池送水流量計　　１組

３．工事範囲

１）２．項記載機器の設計・製作及び据付工事

２）２．項記載機器の配線配管接続工事

３）その他上記に関する諸工事

４．機器仕様

１）和賀第１配水池送水流量計

数　　量	１組
形　　式	電磁式（満水形）
口　　径	100φ
精　　度	±0.5%F.S
測定対象	浄水
取付方式	フランジ取付
機器構成	
（１）検出器	１台
（２）変換器	１台
（３）その他必要なもの	１式

第７章　特記仕様

第１節　電気設備

１．概　　要

本設備は片寄配水池の圧力計を更新する工事である。

２．設備機器

１）片寄配水池圧力計　　１組

３．工事範囲

１）２．項記載機器の設計・製作及び据付工事

２）２．項記載機器の配線配管接続工事

３）その他上記に関する諸工事

４．機器仕様

１）片寄配水池圧力計

数　　量	１組
形　　式	圧力式
精　　度	±0.1%
測定対象	浄水
取付方式	スタンション取付
機器構成	
（１）検出器	１台
（２）スタンション	１式
（３）その他必要なもの	１式

施工場所

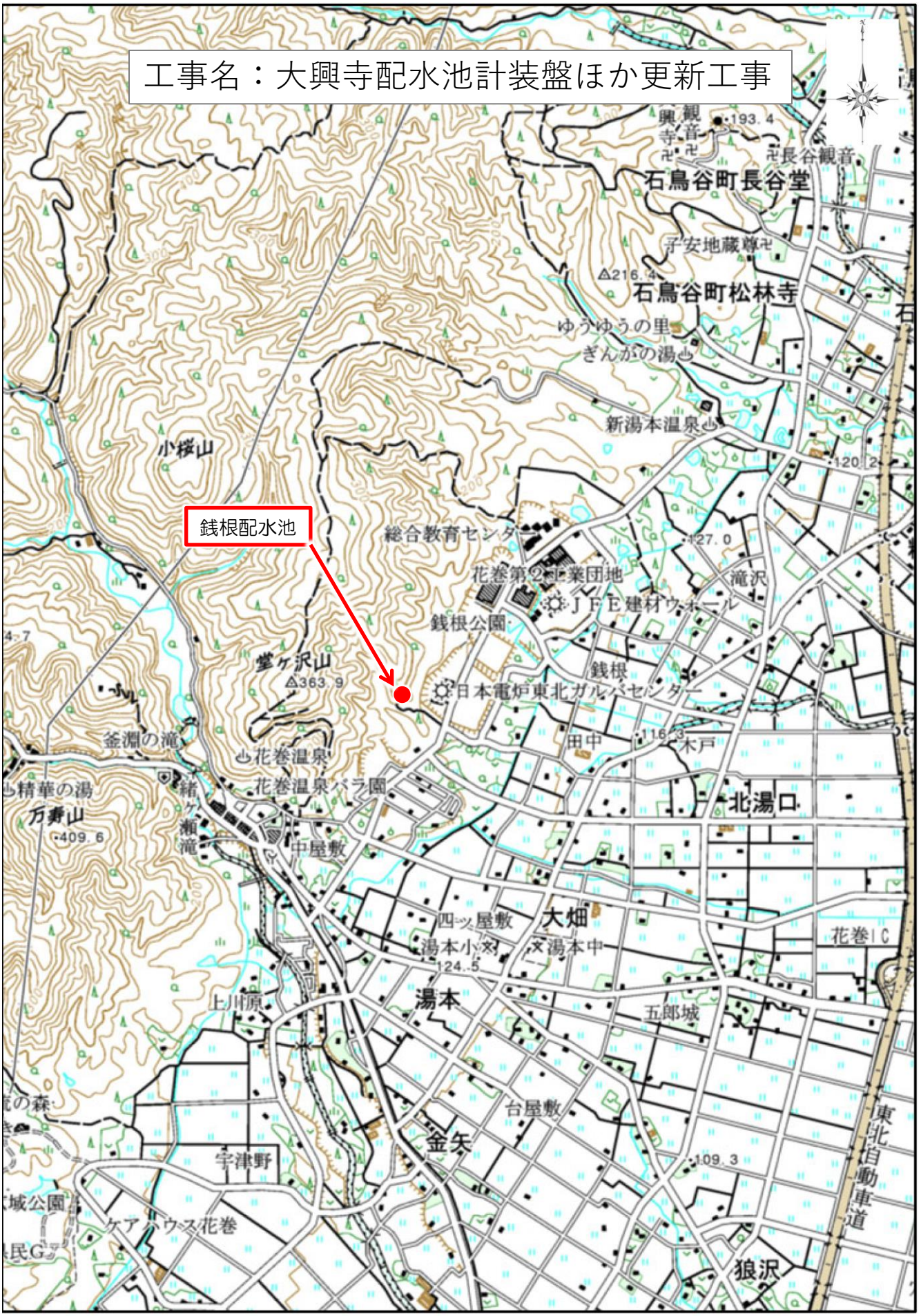
北海道地図株式会社

0 250 500 750 1000 m

1:25000

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。
（承認番号　平26情使、第202-GISMAP34818号）

施工場所



北海道地図株式会社

0 250 500 750 1000 m

1:25000

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。
（承認番号　平26情使、第202-GISMAP34818号）

施工場所

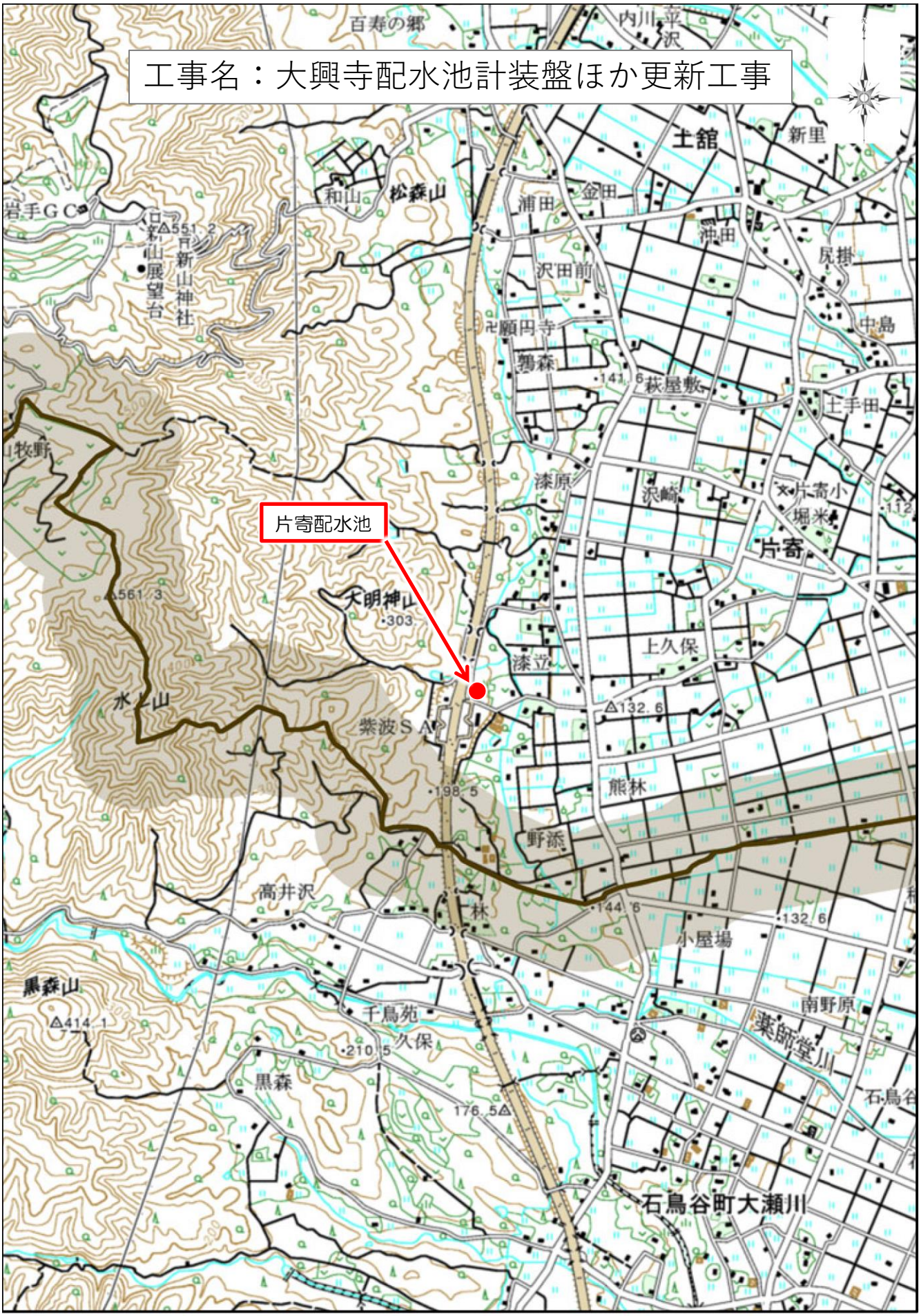
北海道地図株式会社

0 250 500 750 1000 m

1:25000

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。
（承認番号　平26情使、第202-GISMAP34818号）

施工場所

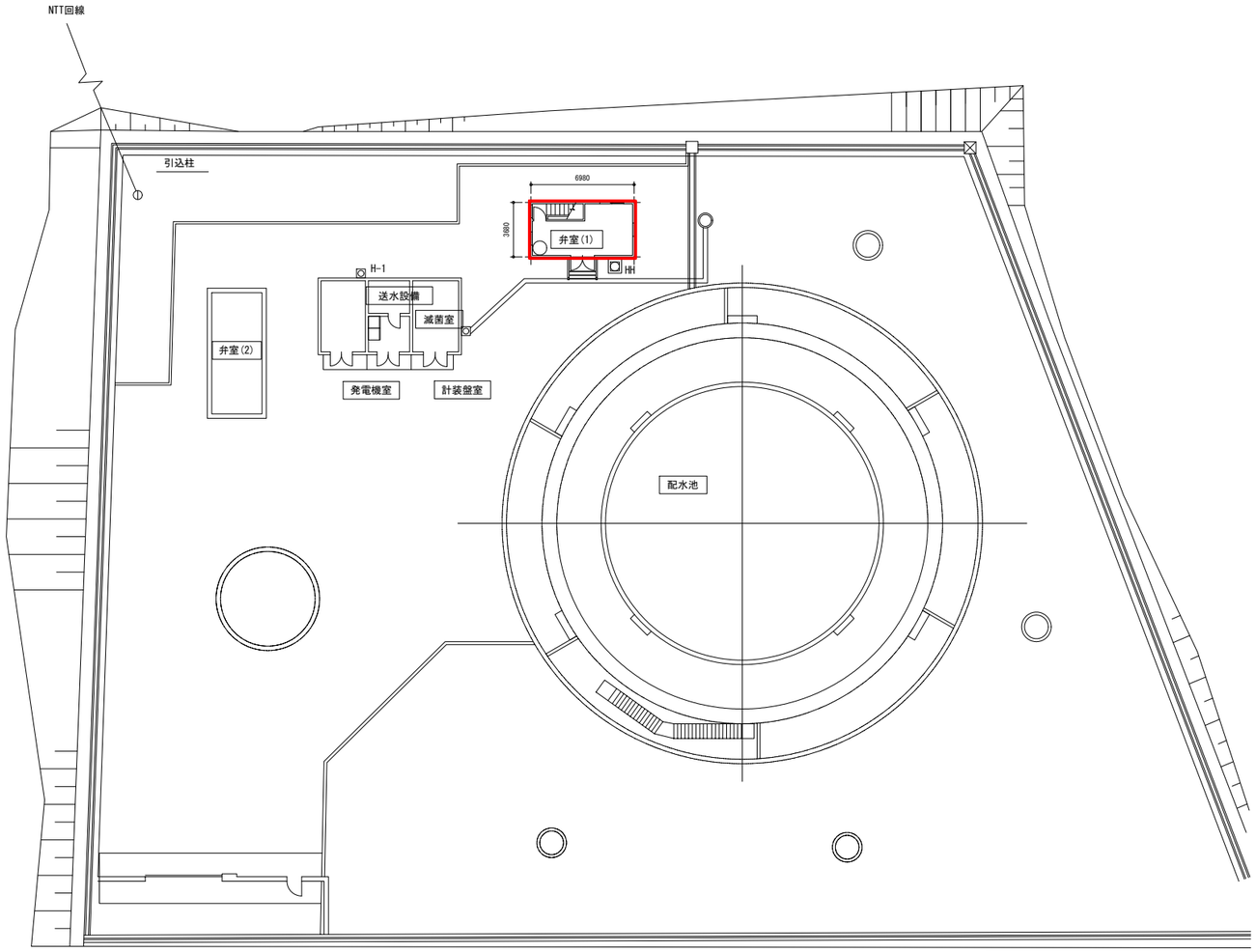


北海道地図株式会社

0 250 500 750 1000 m

1:25000

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。
（承認番号　平26情使、第202-GISMAP34818号）

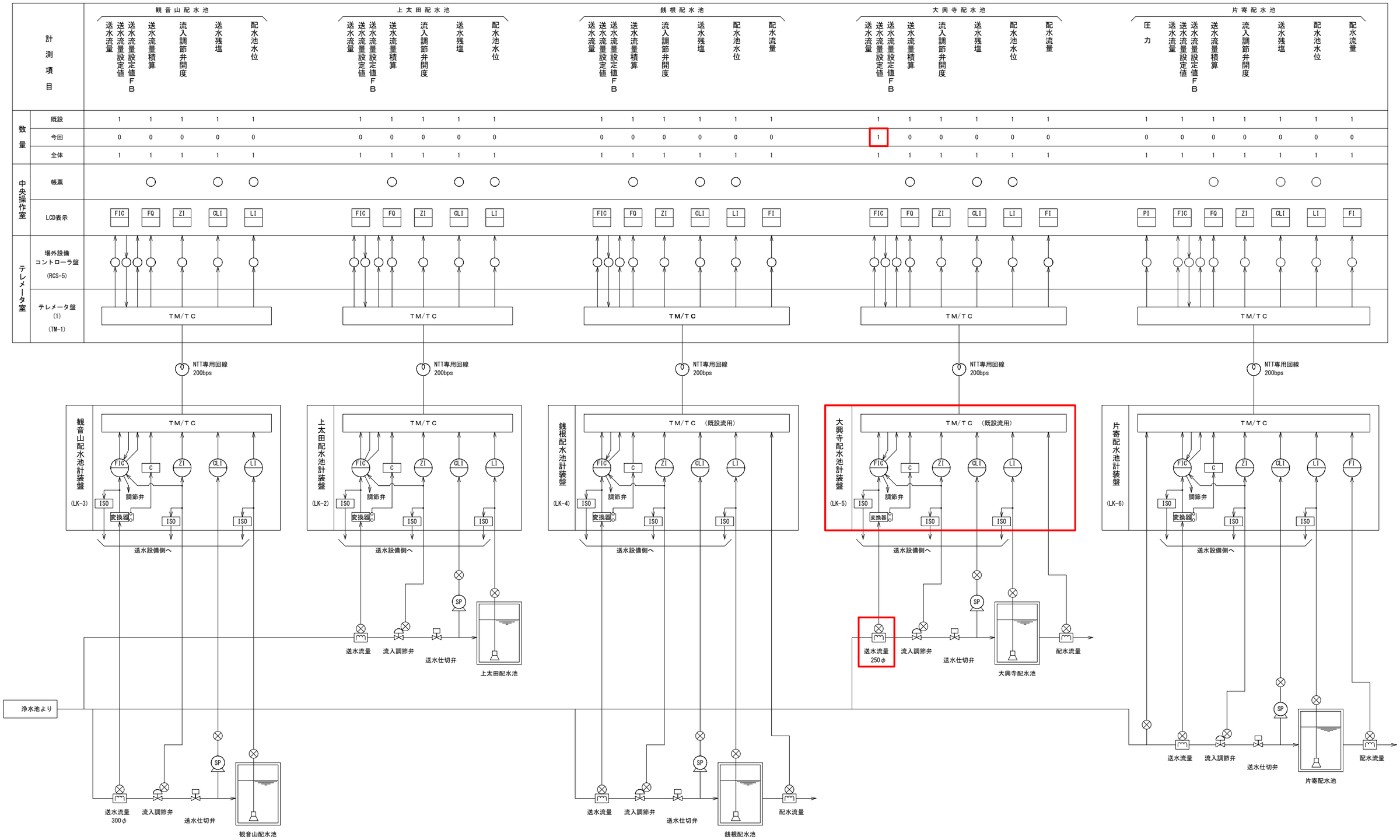


大興寺配水池 一般平面図　S=1/200

注記）

1. ▭ は今回工事範囲を示す。

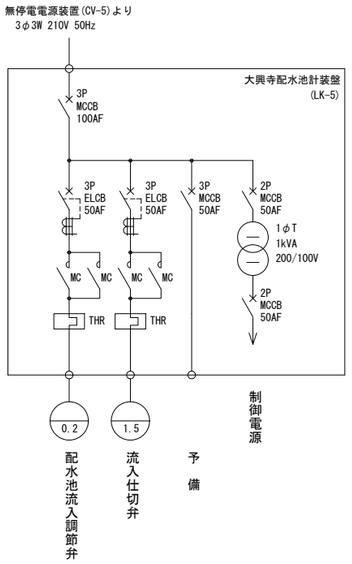
事 業 名			
工 事 名	大興寺配水池 計装盤ほか更新工事		
図面名称	一般平面図		
縮　　尺	1/200	図面番号	1 / 28
事 業 者	岩手中部水道企業団		

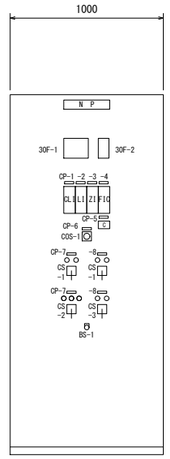


注記)

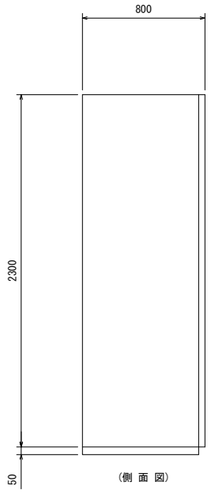
1. ▭ 部は今回工事を示す。

事業名			
工事名	大興寺配水池 計装盤ほか更新工事		
図面名称	計装フローシート		
縮尺	NONSCALE	図面番号	2 / 28
事業者	岩手中部水道企業団		





(正 面 図)



(側 面 図)

盤 記 号	LK-5
盤 名 称	大興寺配水池計装盤
備　　考	

銘板記入文字

CP-No.	名　　称
CP － 1	送水残留塩素
－ 2	配水池水位
－ 3	流量調節弁開度
－ 4	流量調節
－ 5	流量積算
－ 6	流調弁・仕切弁
－ 7	流入調節弁
－ 8	流入仕切弁

凡 例

記　号	名　　称
COS － 1	切替スイッチ　(現場－中央)
CS － 1	切替スイッチ　(手動－自動)
－ 2	〃　(閉－停止－開)
－ 3	〃　(閉－開)
BS － 1	押釦スイッチ　(ランプテスト)

30F-1

送水残塩 高	水位 高	流入調節弁 過電流	流入仕切弁 過電流	テレメータ 異常
送水残塩 低	水位 低	流入調節弁 地絡	流入仕切弁 地絡	ＣＶＣＦ 故障
	排気温度	流入調節弁 閉過トルク	流入仕切弁 閉過トルク	
		流入調節弁 開過トルク	流入仕切弁 開過トルク	流量調節計 異常

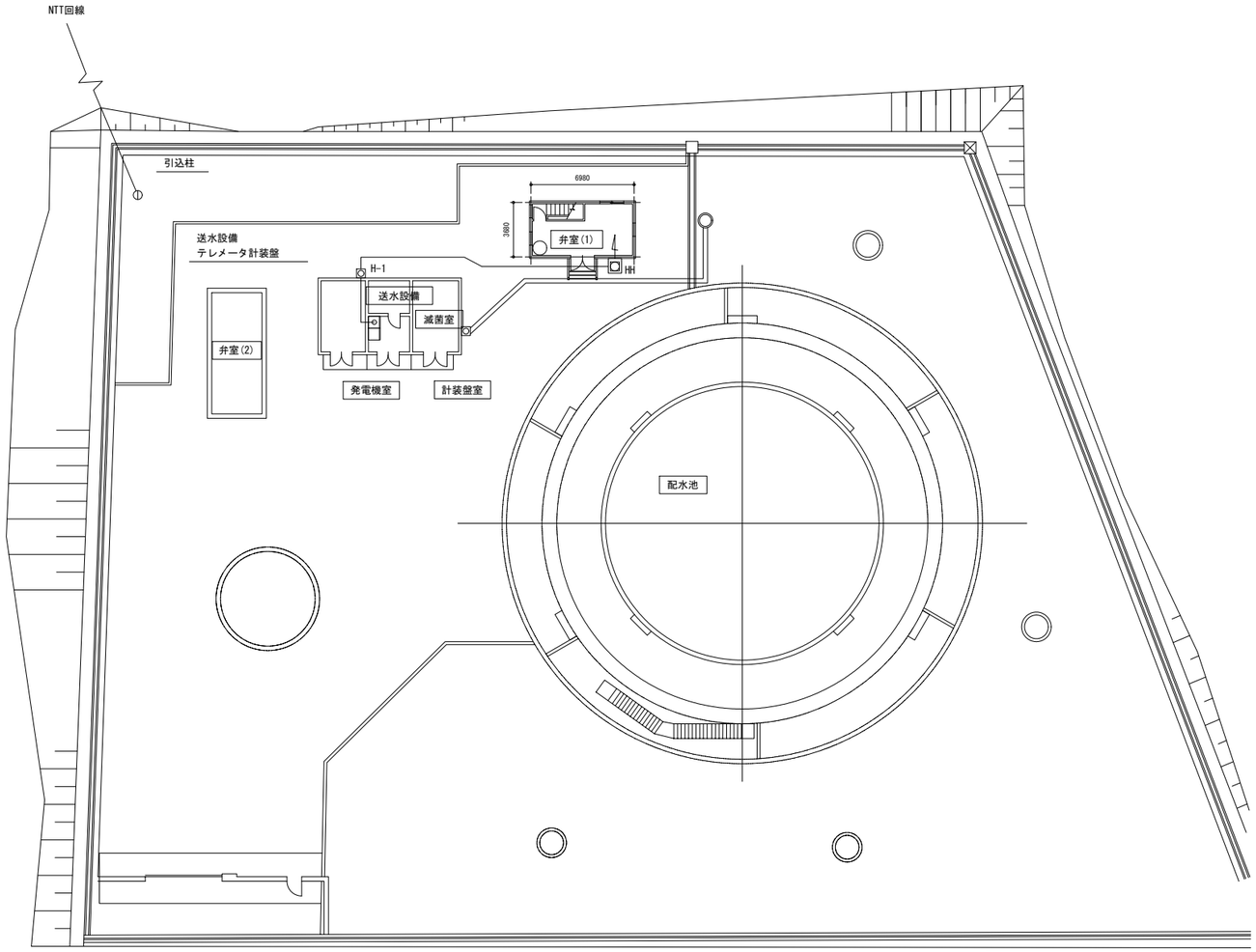
30F-2

流入調節弁 全閉	流入仕切弁 全閉
流入調節弁 全開	流入仕切弁 全開
流量調節計 カスケード モード	

注記

1. 本図は今回工事を示す。
2. 盤寸法は参考とする。

事 業 名			
工 事 名	大興寺配水池 計装盤ほか更新工事		
図面名称	計装盤単線・外形図		
縮　　尺	1/20	図面番号	3 / 28
事 業 者	岩手中部水道企業団		

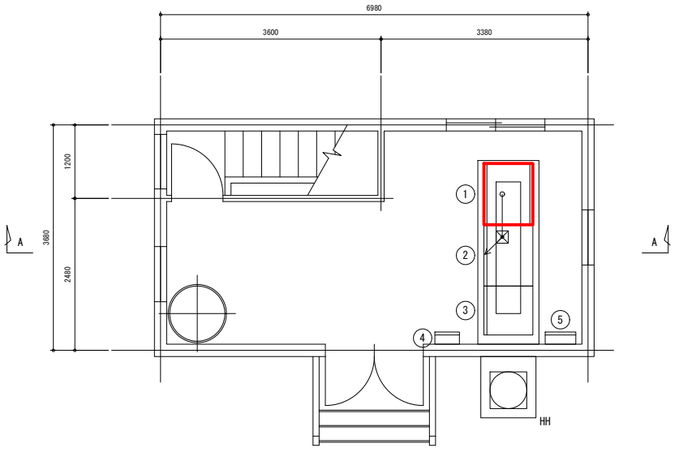


大興寺配水池 全体平面図　S=1/200

注記）

1. ▭ は今回工事を示す。

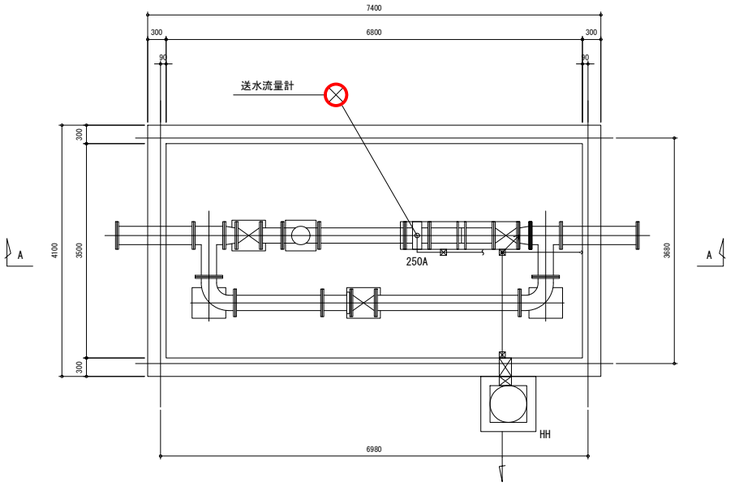
事 業 名			
工 事 名	大興寺配水池 計装盤ほか更新工事		
図面名称	全体平面図（更新）		
縮　　尺	1/200	図面番号	4 / 28
事 業 者	岩手中部水道企業団		



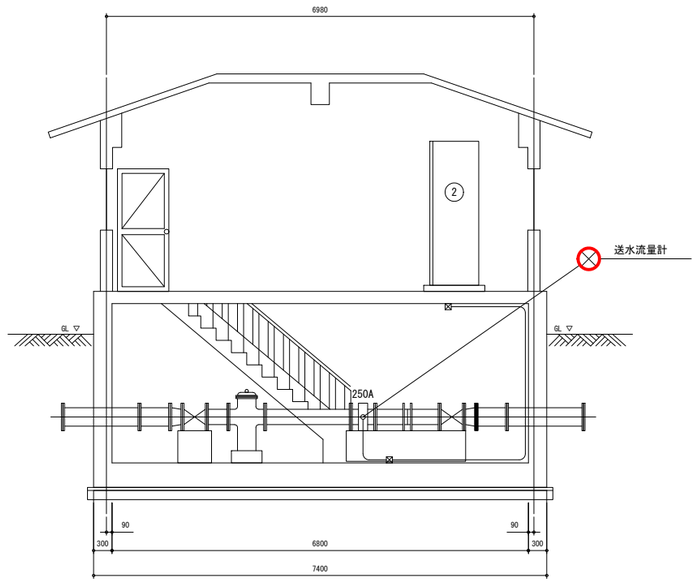
弁室(1) 1階平面図　S=1/50

機器一覧表

番号	記　号	名　　称	備　考
1	LK-5	計装盤	今　回
2		無停電電源装置	既　設
3		蓄電池盤	〃
4		照明分電盤	〃
5		接地端子箱	〃



弁室(1)地下1階平面図　S=1/50

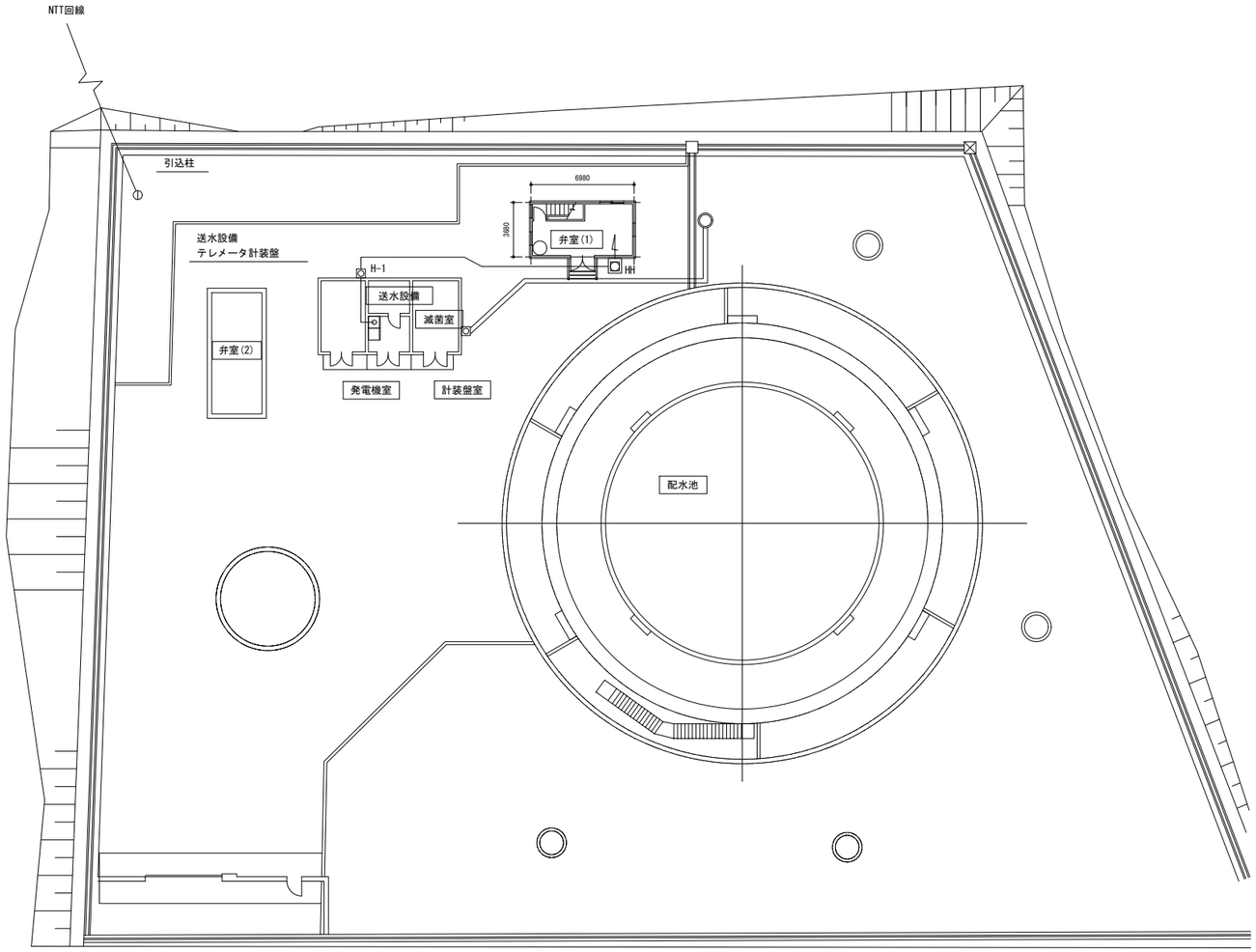


Ａ－Ａ断面図　S=1/50

注記）

1. ▭ は今回工事を示す。

事 業 名			
工 事 名	大興寺配水池 計装盤ほか更新工事		
図面名称	弁室(1)平断面図（更新）		
縮　　尺	1/50	図面番号	5 / 28
事 業 者	岩手中部水道企業団		

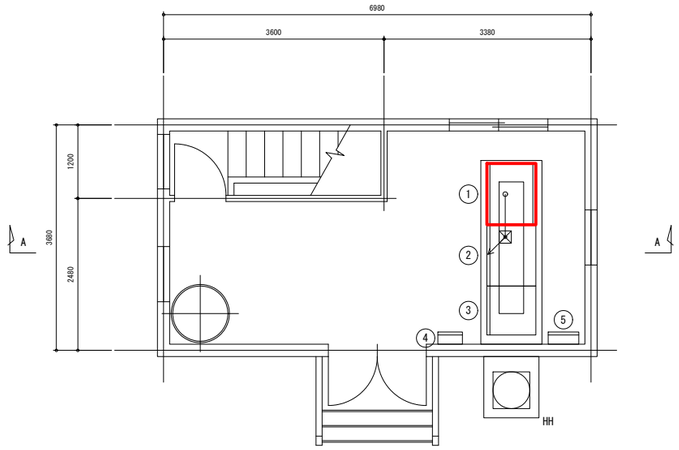


大興寺配水池 全体平面図　S=1/200

注記）

1. ▭ は撤去工事を示す。

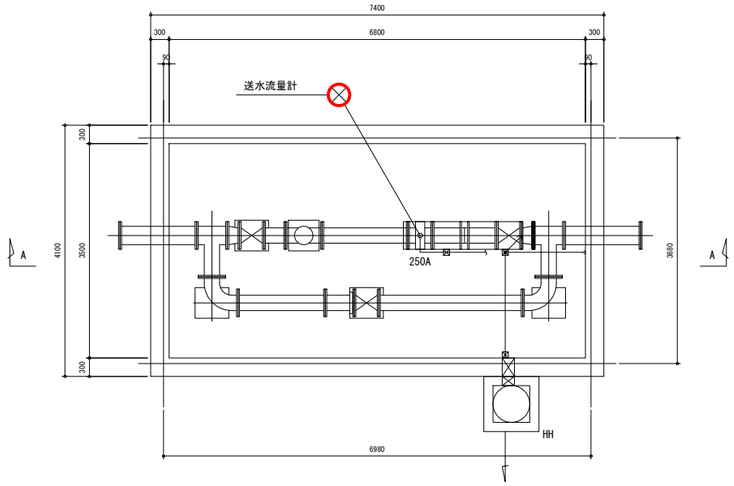
事 業 名			
工 事 名	大興寺配水池 計装盤ほか更新工事		
図面名称	全体平面図（撤去）		
縮　　尺	1/200	図面番号	6 / 28
事 業 者	岩手中部水道企業団		



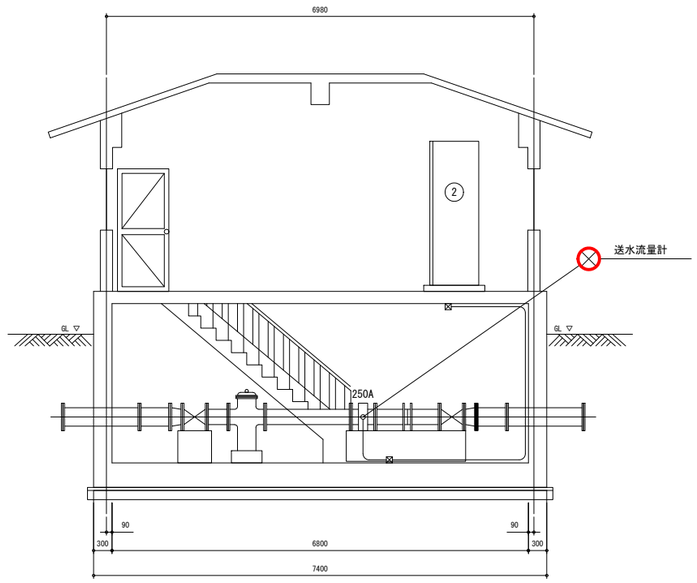
弁室(1) 1階平面図　S=1/50

機器一覧表

番号	記　号	名　　称	備　考
1	LK-5	計装盤	撤　去
2		無停電電源装置	既　設
3		蓄電池盤	〃
4		照明分電盤	〃
5		接地端子箱	〃



弁室(1)地下1階平面図　S=1/50

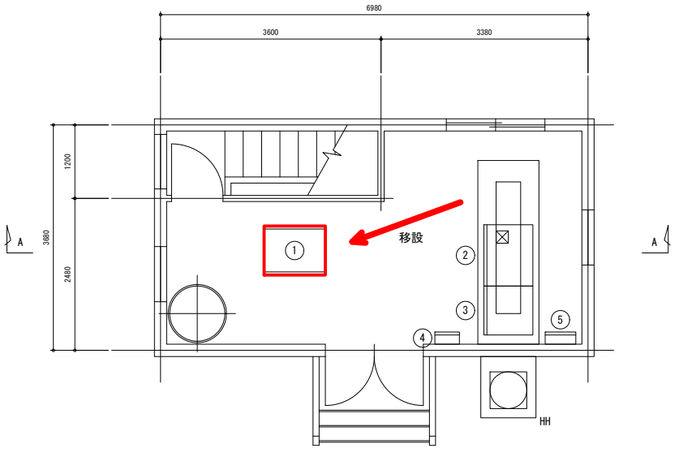


A－A断面図　S=1/50

注記）

1. ▭ は撤去工事を示す。

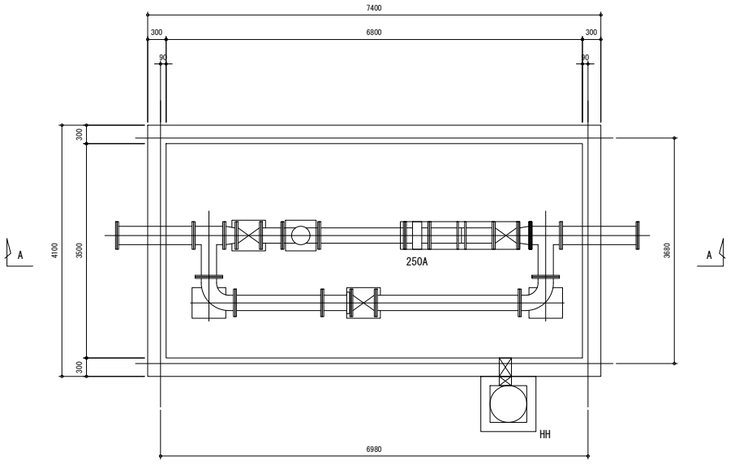
事 業 名			
工 事 名	大興寺配水池 計装盤ほか更新工事		
図面名称	弁室(1)平断面図（撤去）		
縮　　尺	1/50	図面番号	7 / 28
事 業 者	岩手中部水道企業団		



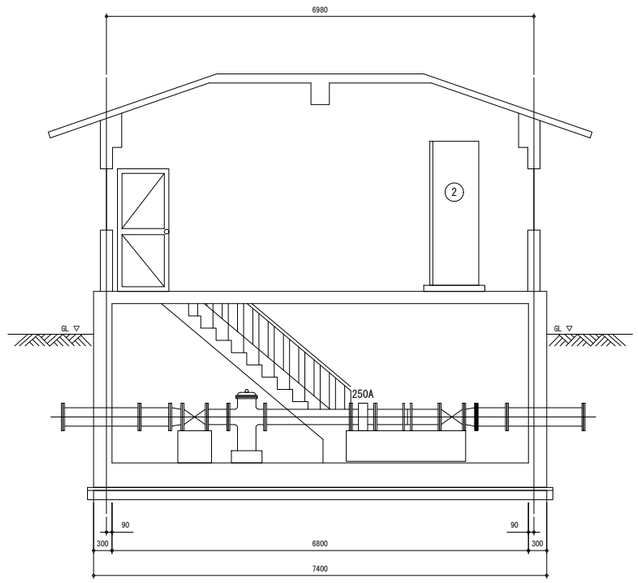
弁室(1) 1階平面図　S=1/50

機器一覧表

番号	記　号	名　　称	備　考
1	LK-5	計装盤	移　設
2		無停電電源装置	既　設
3		蓄電池盤	〃
4		照明分電盤	〃
5		接地端子箱	〃



弁室(1)地下1階平面図　S=1/50

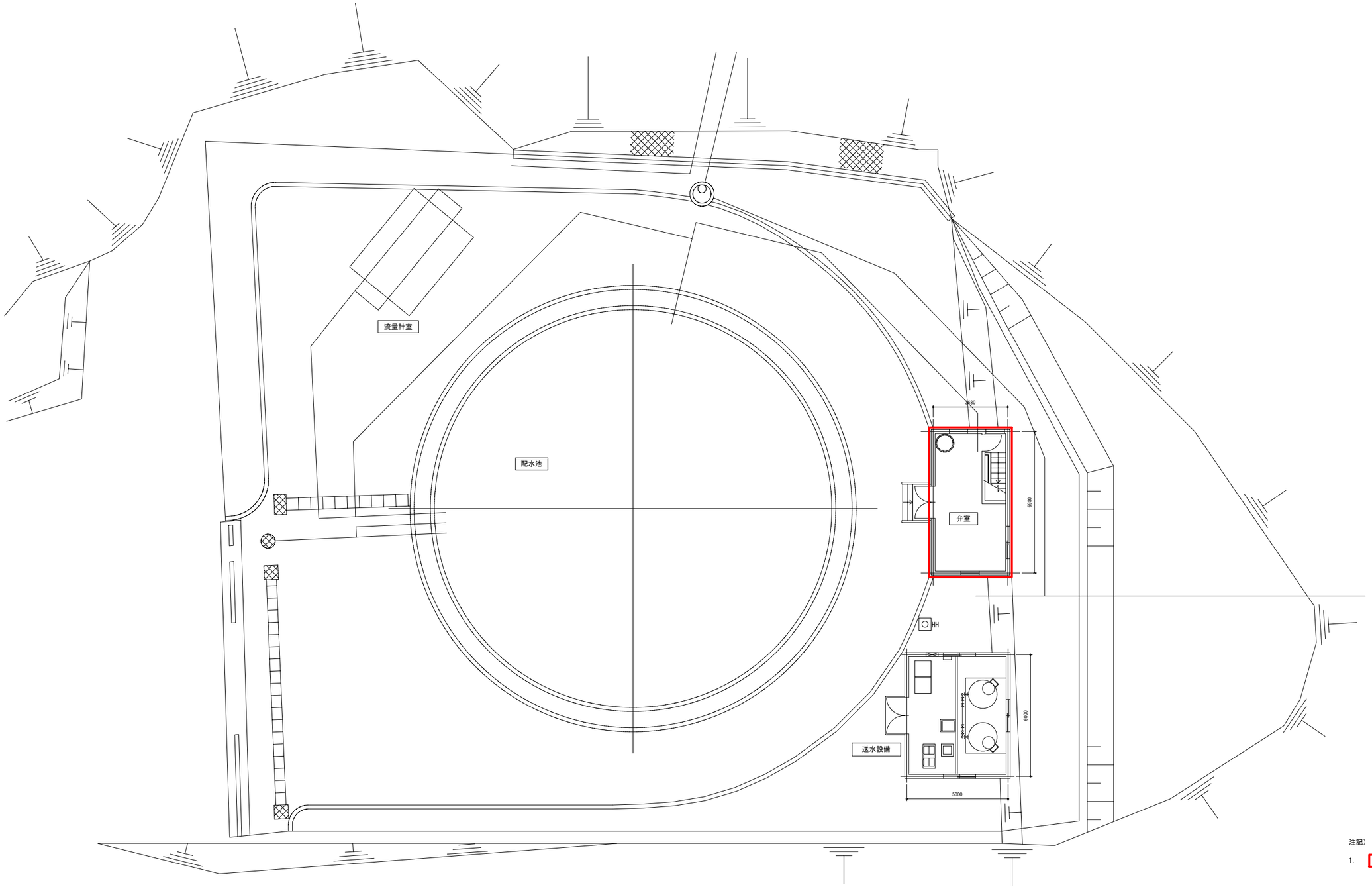


A－A断面図　S=1/50

注記）

1. 　　は移設工事を示す。

事 業 名			
工 事 名	大興寺配水池 計装盤ほか更新工事		
図面名称	弁室(1)平断面図（仮設）		
縮　　尺	1/50	図面番号	8 / 28
事 業 者	岩手中部水道企業団		



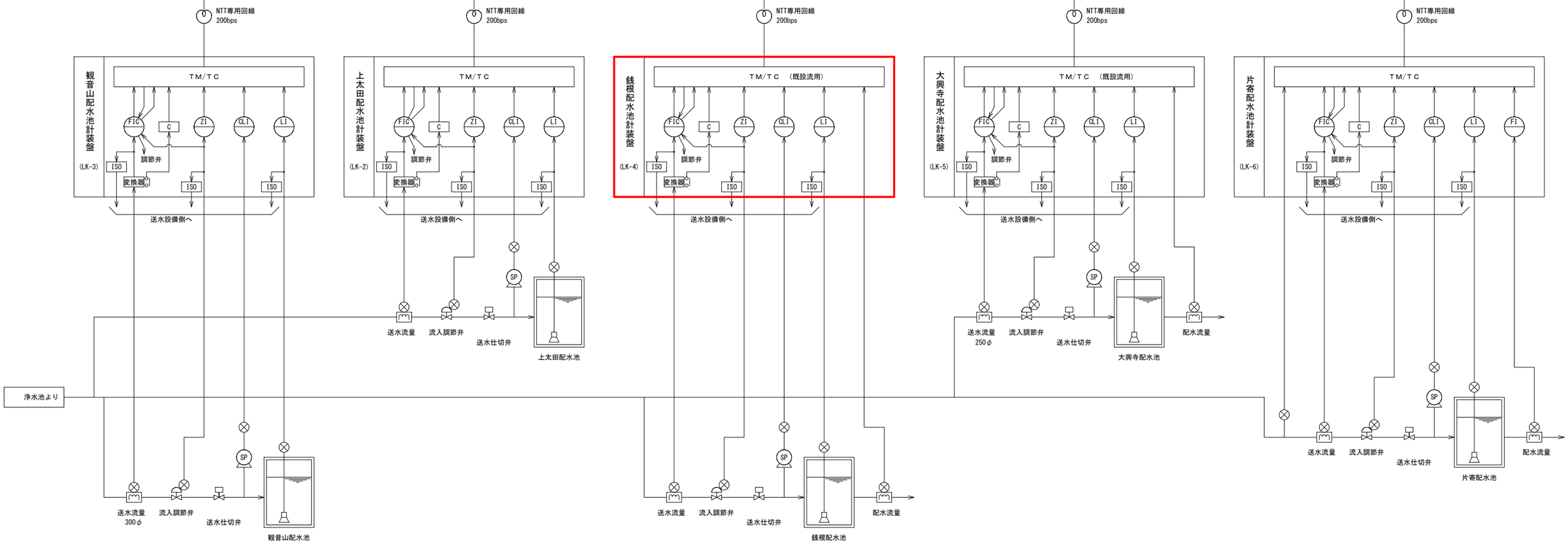
注記）

1. ▭ は今回工事範囲を示す。

銭根配水池 一般平面図　S=1/100

事 業 名			
工 事 名	大興寺配水池 計装盤ほか更新工事		
図面名称	一般平面図		
縮　　尺	1/100	図面番号	9 / 28
事 業 者	岩手中部水道企業団		

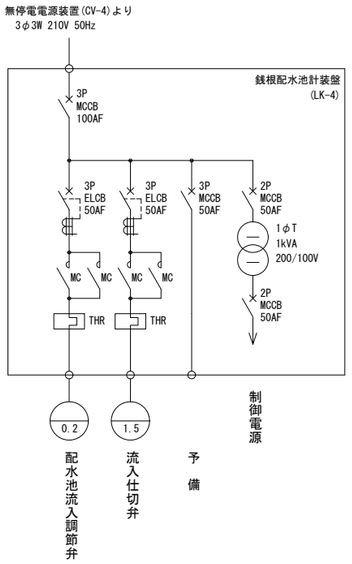
計測項目		観音山配水池					上太田配水池					銭根配水池						大興寺配水池						片寄配水池						
		送水流量	送水流量設定値FB	送水流量積算	流入調節弁開度	送水残塩	配水池水位	送水流量	送水流量設定値FB	送水流量積算	流入調節弁開度	送水残塩	配水池水位	送水流量	送水流量設定値FB	送水流量積算	流入調節弁開度	送水残塩	配水池水位	配水流量	送水流量	送水流量設定値FB	送水流量積算	流入調節弁開度	送水残塩	配水池水位	配水流量	圧力	送水流量	送水流量設定値FB	送水流量積算	流入調節弁開度	送水残塩	配水池水位	配水流量
数量	既設	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	今回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	全体	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
中央操作室	帳票			○		○	○			○		○	○			○		○	○				○		○	○				○		○	○		
	LCD表示	FIC	FQ	ZI	CLI	LI	FIC	FQ	ZI	CLI	LI	FIC	FQ	ZI	CLI	LI	FI	FIC	FQ	ZI	CLI	LI	FI	PI	FIC	FQ	ZI	CLI	LI	FI
テレメータ室	場外設備コントローラ盤 (RCS-5)																													
	テレメータ盤 (1) (TM-1)	TM/TC					TM/TC					TM/TC						TM/TC						TM/TC						

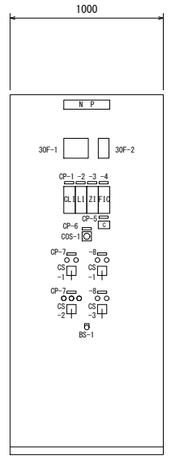


注記)

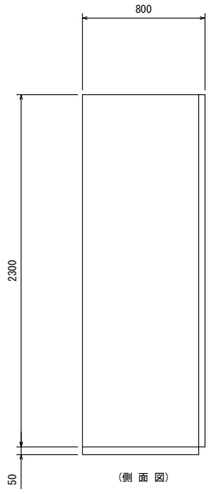
1. ▭ 部は今回工事を示す。

事業名			
工事名	大興寺配水池 計装盤ほか更新工事		
図面名称	計装フローシート		
縮尺	NONSCALE	図面番号	10 / 28
事業者	岩手中部水道企業団		





(正 面 図)



(側 面 図)

盤 記 号	LK-4
盤 名 称	銭根配水池計装盤
備　　考	

銘板記入文字

CP-No.	名　　称
CP － 1	送水残留塩素
－ 2	配水池水位
－ 3	流量調節弁開度
－ 4	流量調節
－ 5	流量積算
－ 6	流調弁・仕切弁
－ 7	流入調節弁
－ 8	流入仕切弁

凡 例

記　号	名　　称
COS － 1	切替スイッチ　(現場－中央)
CS － 1	切替スイッチ　(手動－自動)
－ 2	〃　(閉－停止－開)
－ 3	〃　(閉－開)
BS － 1	押釦スイッチ　(ランプテスト)

30F-1

送水残塩 高	水位 高	流入調節弁 過電流	流入仕切弁 過電流	テレメータ 異常
送水残塩 低	水位 低	流入調節弁 地絡	流入仕切弁 地絡	ＣＶＣＦ 故障
	排気温度	流入調節弁 閉過トルク	流入仕切弁 閉過トルク	
		流入調節弁 開過トルク	流入仕切弁 開過トルク	流量調節計 異常

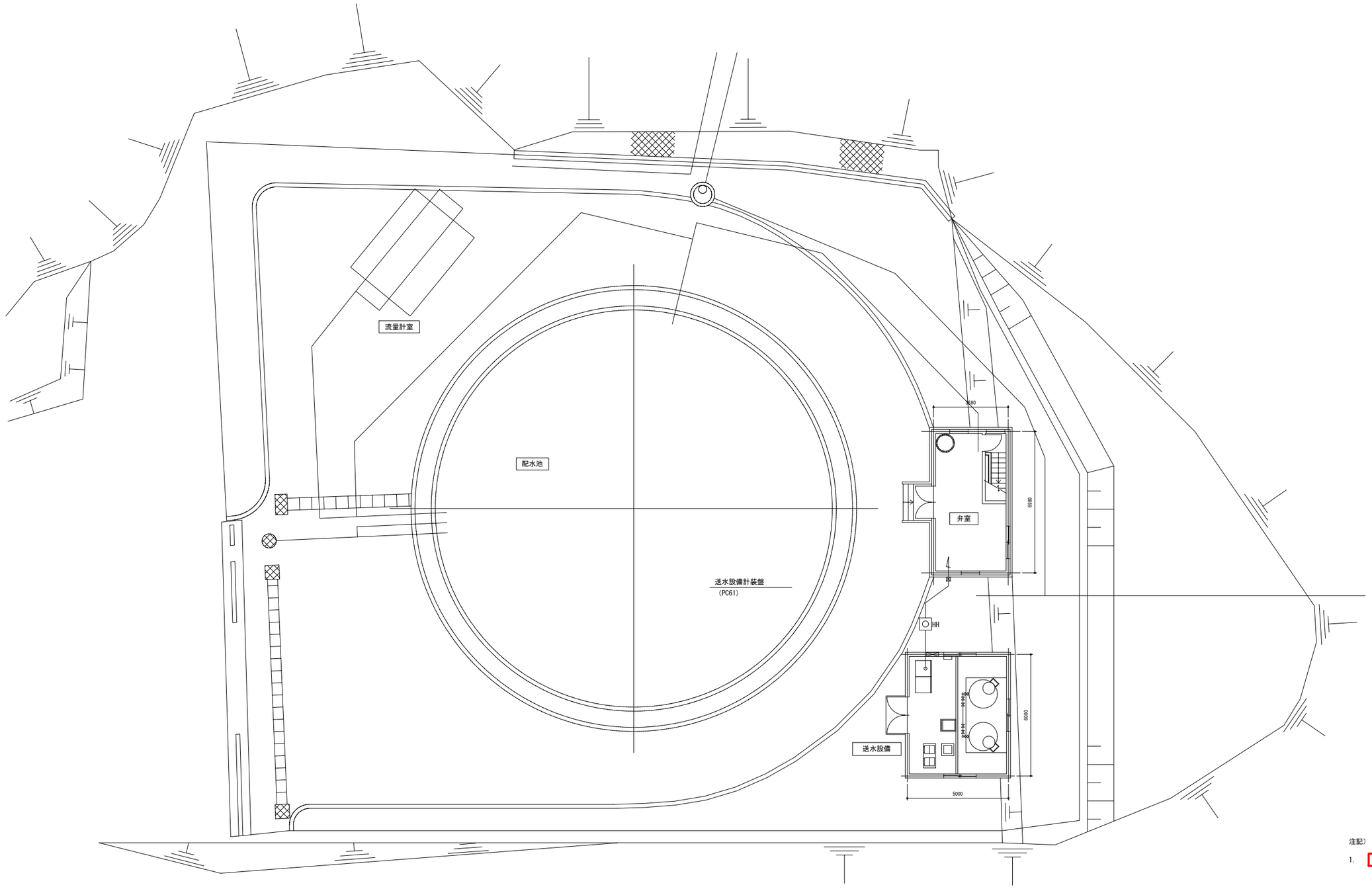
30F-2

流入調節弁 全閉	流入仕切弁 全閉
流入調節弁 全開	流入仕切弁 全開
流量調節計 カスケード モード	

注記

1. 本図は今回工事を示す。
2. 盤寸法は参考とする。

事 業 名			
工 事 名	大興寺配水池 計装盤ほか更新工事		
図面名称	計装盤単線・外形図		
縮　　尺	1/20	図面番号	１１ / ２８
事 業 者	岩手中部水道企業団		

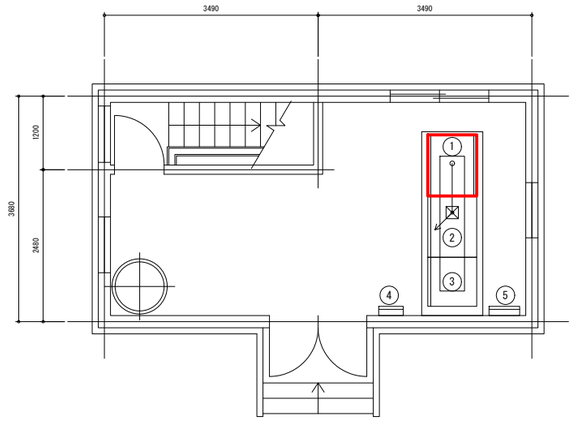


注記）

1. ▭ は今回工事を示す。

銭根配水池 全体平面図　S=1/100

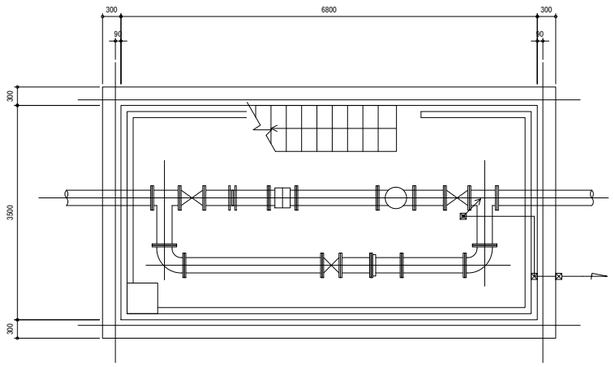
事 業 名			
工 事 名	大興寺配水池 計装盤ほか更新工事		
図面名称	全体平面図（更新）		
縮　　尺	1/100	図面番号	１２ ／ ２８
事 業 者	岩手中部水道企業団		



弁室　１階平面図　S=1/50

機器一覧表

番号	記　号	名　　称	備　考
1	LK-4	計装盤	今　回
2		無停電電源装置	既　設
3		蓄電池盤	〃
4		照明分電盤	〃
5		接地端子箱	〃

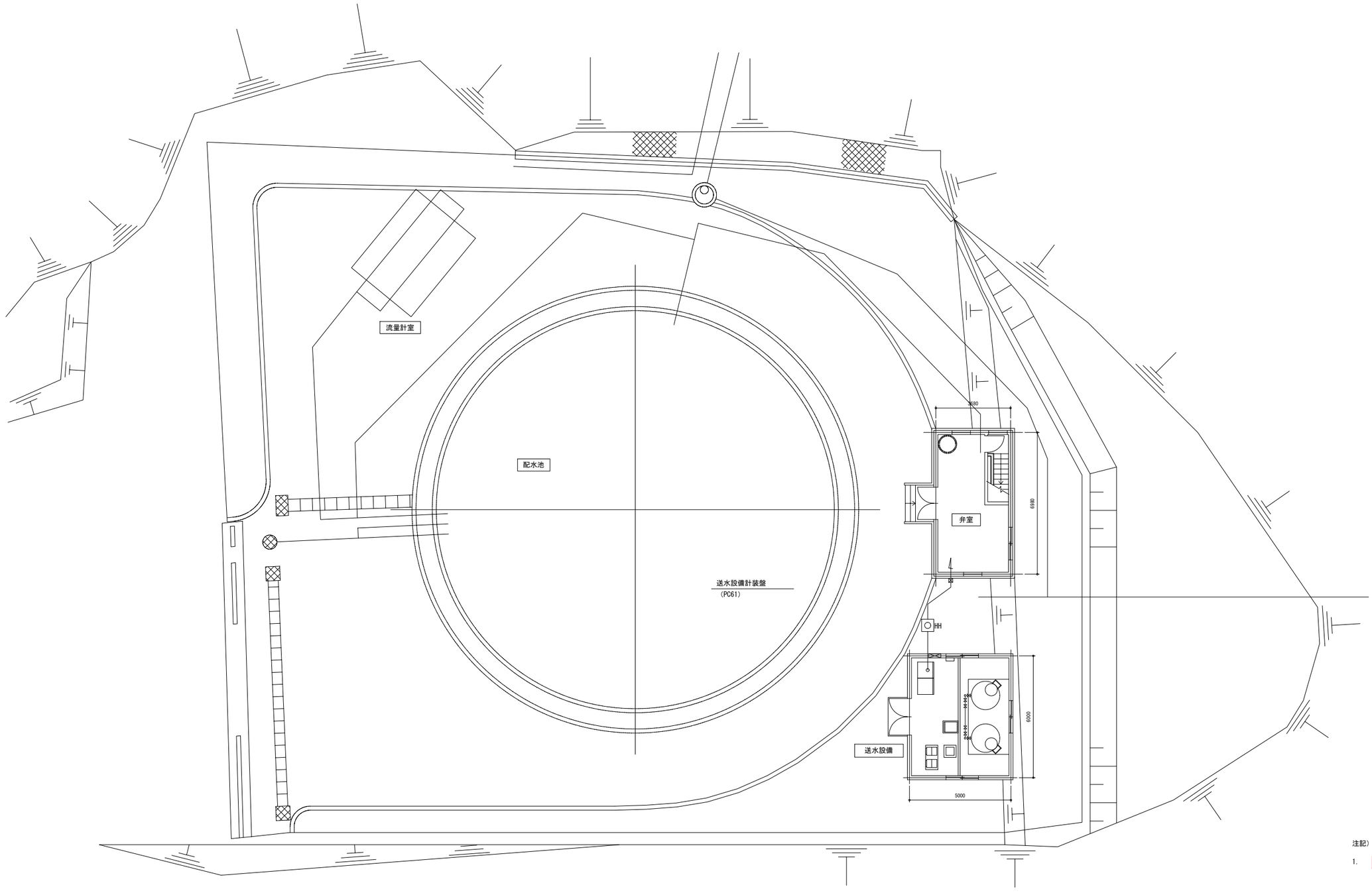


弁室 地下１階平面図　S=1/50

注記）

1. ▭ は今回工事を示す。

事 業 名			
工 事 名	大興寺配水池 計装盤ほか更新工事		
図面名称	弁室平面図（更新）		
縮　　尺	1/50	図面番号	１３ ／ ２８
事 業 者	岩手中部水道企業団		

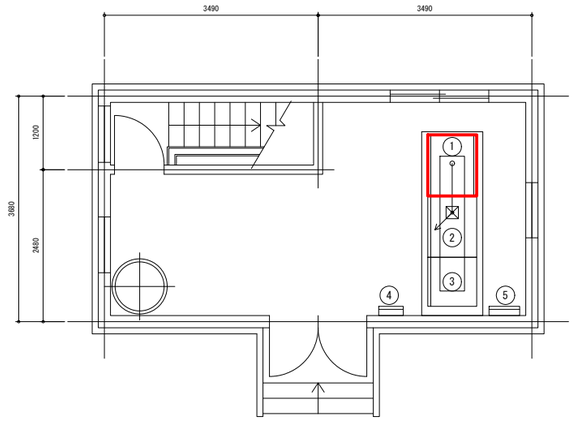


注記）

1. ▭ は撤去工事を示す。

銭根配水池 全体平面図　S=1/100

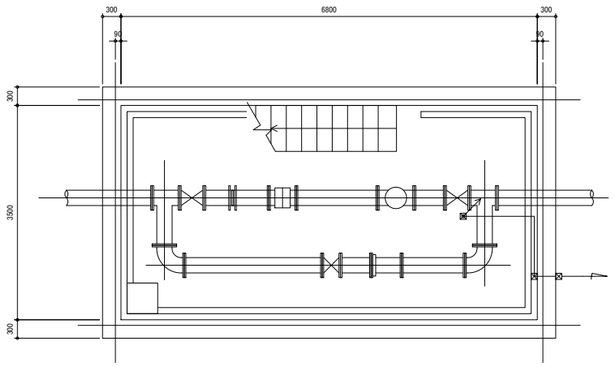
事 業 名			
工 事 名	大興寺配水池 計装盤ほか更新工事		
図面名称	全体平面図（撤去）		
縮　　尺	1/100	図面番号	１４ ／ ２８
事 業 者	岩手中部水道企業団		



弁室 １階平面図　S=1/50

機器一覧表

番号	記　号	名　　称	備　考
1	LK-4	計装盤	撤　去
2		無停電電源装置	既　設
3		蓄電池盤	〃
4		照明分電盤	〃
5		接地端子箱	〃

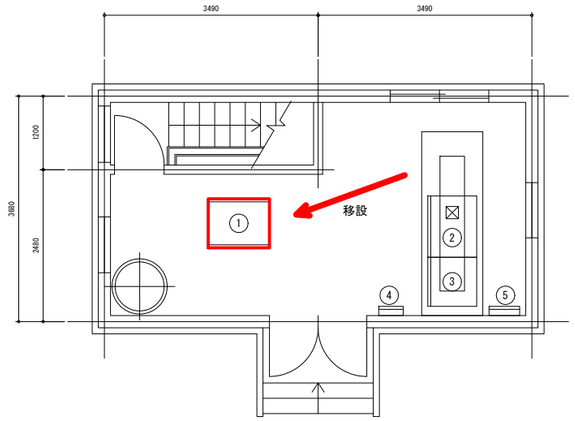


弁室 地下１階平面図　S=1/50

注記）

1. 　　は撤去工事を示す。

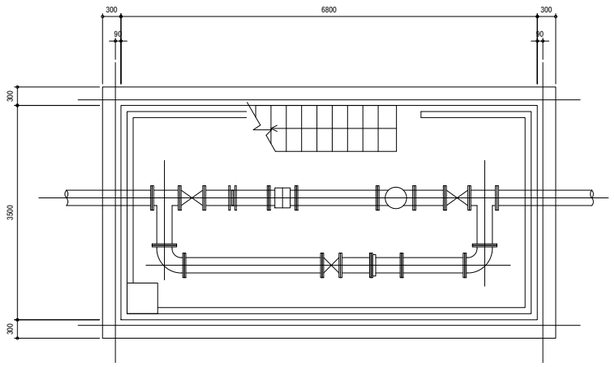
事 業 名			
工 事 名	大興寺配水池 計装盤ほか更新工事		
図面名称	弁室平面図（撤去）		
縮　　尺	1/50	図面番号	１５ ／ ２８
事 業 者	岩手中部水道企業団		



弁室　１階平面図　S=1/50

機器一覧表

番号	記　号	名　　称	備　考
1	LK-4	計装盤	移　設
2		無停電電源装置	既　設
3		蓄電池盤	〃
4		照明分電盤	〃
5		接地端子箱	〃

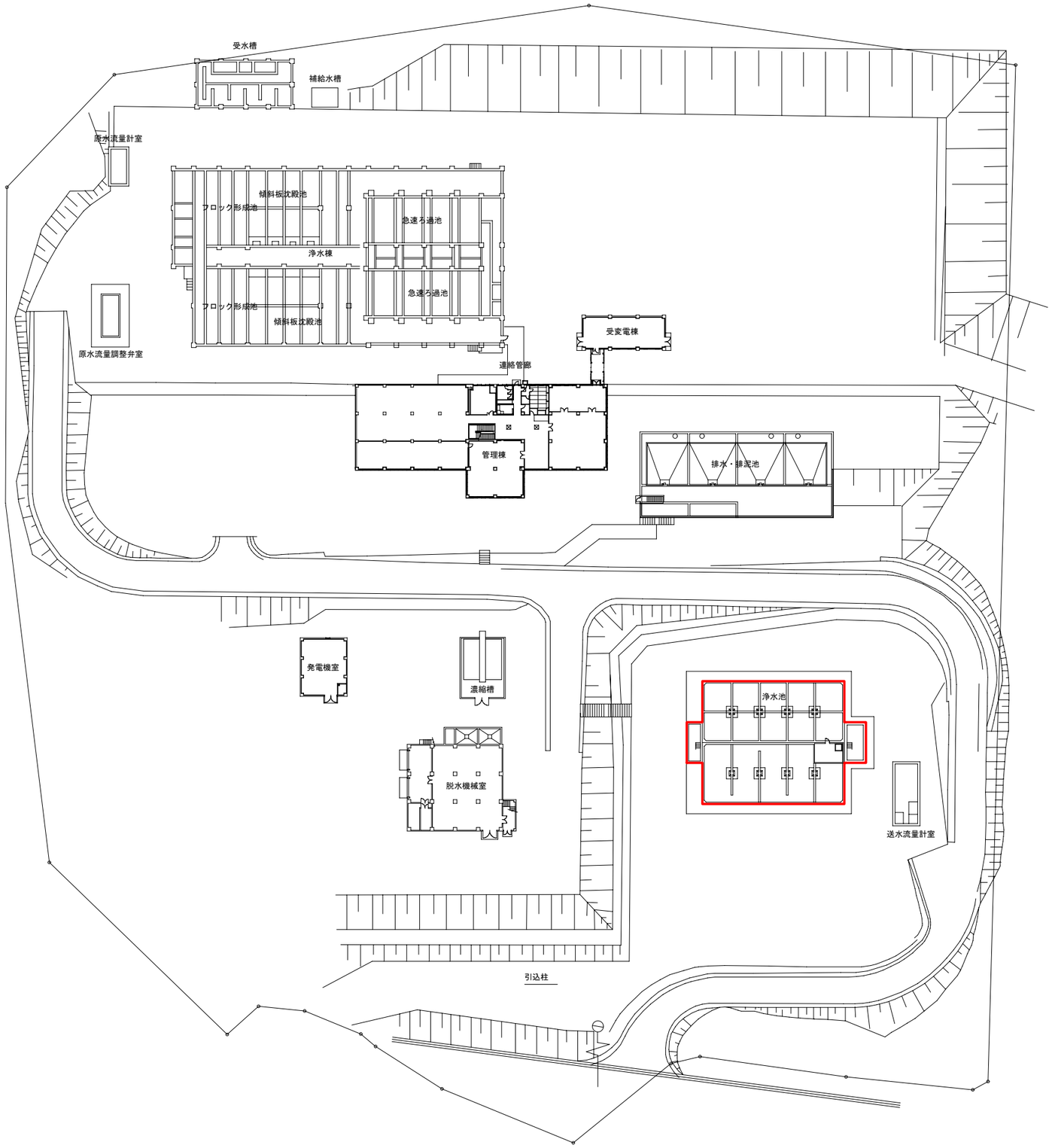


弁室 地下１階平面図　S=1/50

注記）

1.　　は移設工事を示す。

事 業 名			
工 事 名	大興寺配水池 計装盤ほか更新工事		
図面名称	弁室平面図（仮設）		
縮　　尺	1/50	図面番号	１６／２８
事 業 者	岩手中部水道企業団		



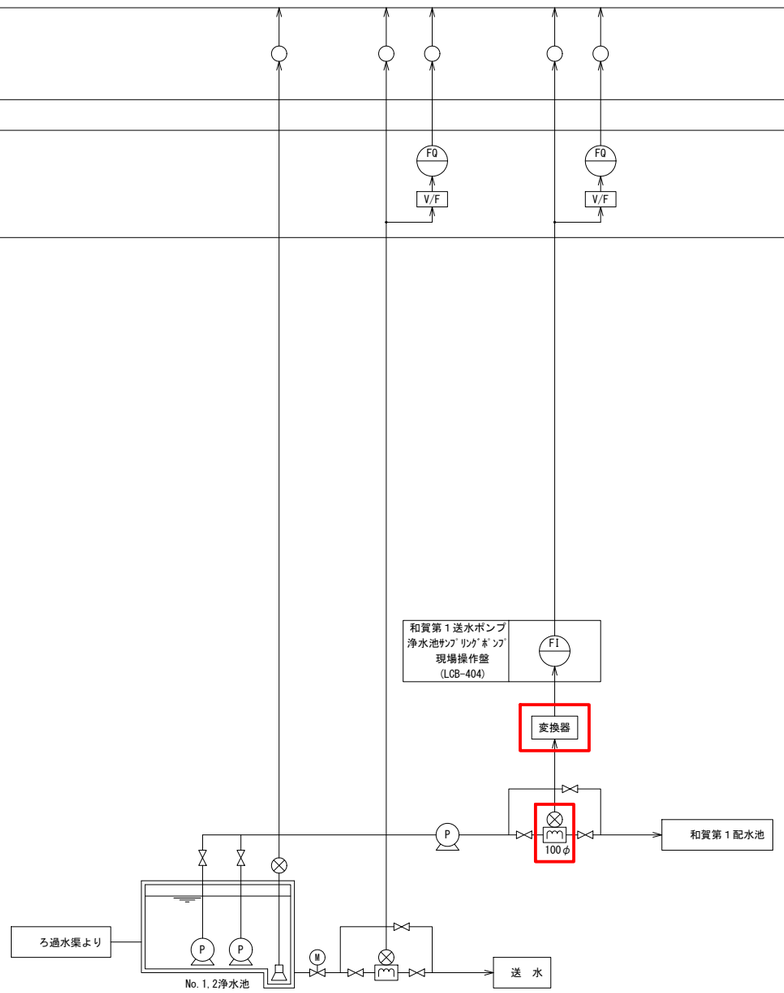
一般平面図　S=1/500

注記）

1. ▭ は今回工事範囲を示す。

事業名			
工事名	大興寺配水池 計装盤ほか更新工事		
図面名称	一般平面図		
縮尺	1/500	図面番号	17 / 28
事業者	岩手中部水道企業団		

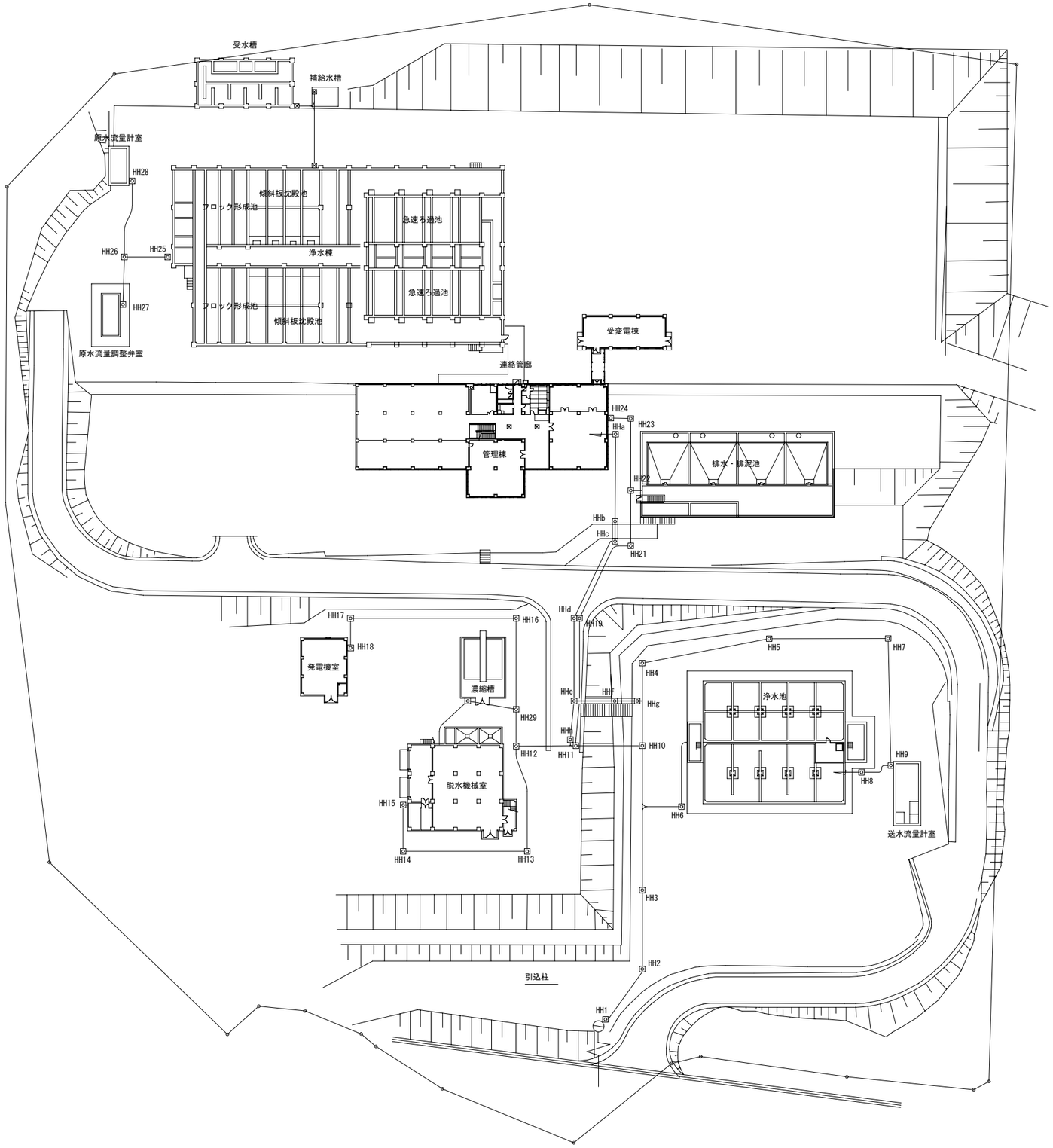
計測項目		No.1,2 浄水池水位	場内送水流量		和賀第1配水池送水流量	
数量	既設	2	1		1	
	今回	0	0		1	
	全体	2	1		1	
中央操作室	帳票	○	○	○	○	○
	LCD表示	LI	FI	FQ	FI	FQ
管理棟1F電気室	水処理設備コントローラ盤(RCS-1,2)	○	○	○	○	○
	中継端子盤					
	計装変換器盤(MK-1,2)			FQ / V/F		FQ / V/F



注記)

1. ▭ 部は今回工事を示す。

事業名			
工事名	大興寺配水池 計装盤ほか更新工事		
図面名称	計装フローシート		
縮尺	NONSCALE	図面番号	18 / 28
事業者	岩手中部水道企業団		

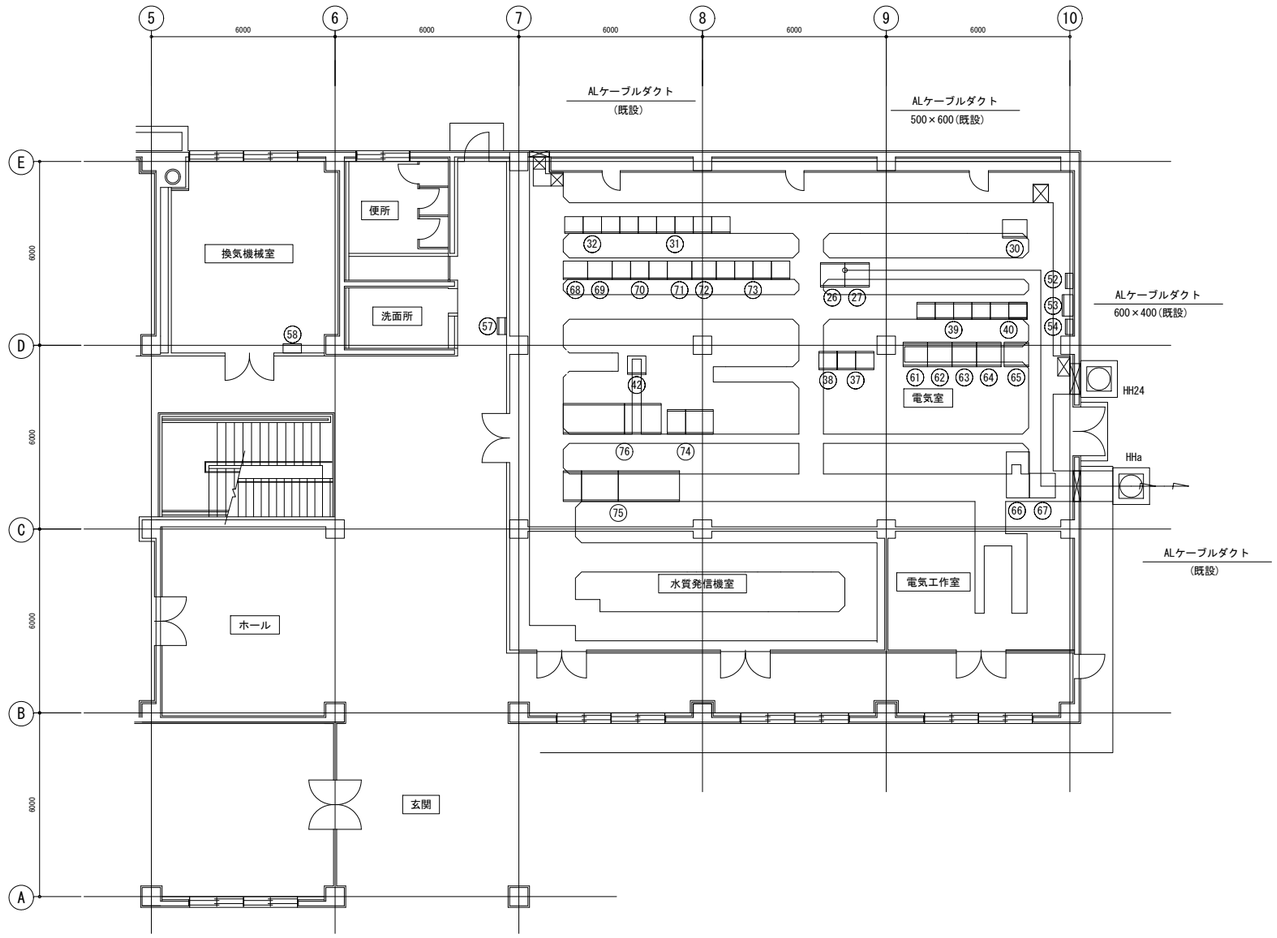


全体平面図　S=1/500

注記）

1. ▭ は今回工事を示す。

事業名			
工事名	大興寺配水池 計装盤ほか更新工事		
図面名称	全体平面図（更新）		
縮尺	1/500	図面番号	19 / 28
事業者	岩手中部水道企業団		



管理棟１階平面図　S=1/100

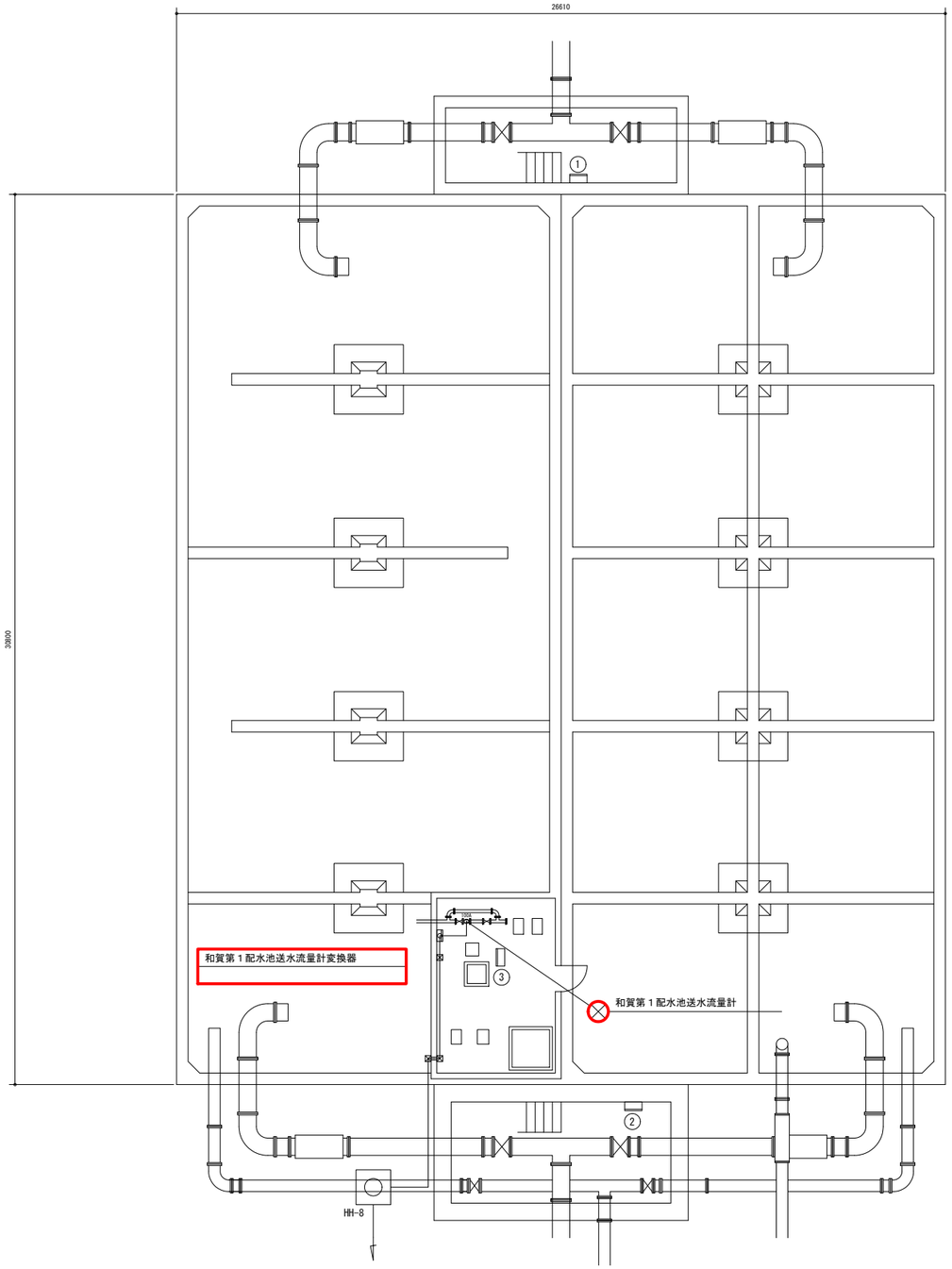
機器一覧表

番号	記　号	名　　称	備　考
26	MK-1	計装変換器盤(1)	既　設
27	MK-2	計装変換器盤(2)	〃
30	CVCF	電気室CVCF分電盤	既　設
31	CC-1A	No.1水処理設備コントロールセンタ	〃
32	CC1AR1～R3	No.1水処理設備補助継電器盤	〃
37	CC-3	薬注設備コントロールセンタ	既　設
38	CC3R1	薬注設備補助継電器盤	〃
39	CC-2	排水汚泥設備コントロールセンタ	〃
40	CC2R1	排水汚泥設備補助継電器盤	〃
42	TD	受変電変換器盤	既　設
52		水質実験用接地端子箱	既　設
53		接地端子箱	〃
54		インバータ用接地端子箱	〃
57	L-1	管理棟電灯分電盤	既　設
58	P-M	管理棟動力操作盤	〃
61	RCS-1	水処理設備コントローラ盤(1)	既　設
62	RCS-2	水処理設備コントローラ盤(2)	〃
63	RCS-3	排水・排泥設備コントローラ盤	〃
64	RCS-4	受変電・ポンプ設備コントローラ盤	〃
65		中継端子箱	〃
66	R-TB-1	受変電中継端子箱(動力)	〃
67	R-TB-2	受変電中継端子箱(制御)	〃
68	RY-2-1	排水排泥池設備補助継電器盤(1)	〃
69	RY-2-2	排水排泥池設備補助継電器盤(2)	〃
70	MCC-2-1～3	排水排泥池設備コントロールセンタ	〃
71	RY-4-1	ポンプ設備補助継電器盤(1)	〃
72	RY-4-2	ポンプ設備補助継電器盤(2)	〃
73	MCC-4-1～4	ポンプ設備コントロールセンタ	〃
74	DC1A/B	直流電源装置	〃
75	CV1A/C	無停電電源装置（監視用）	〃
76	CV2A/B	無停電電源装置（水質試験室用）	〃

注記）

1. [red box] は今回工事を示す。

事 業 名			
工 事 名	大興寺配水池 計装盤ほか更新工事		
図面名称	管理棟１階平面図（更新）		
縮　　尺	1/100	図面番号	２０ / ２８
事 業 者	岩手中部水道企業団		



浄水池平面図　S=1/100

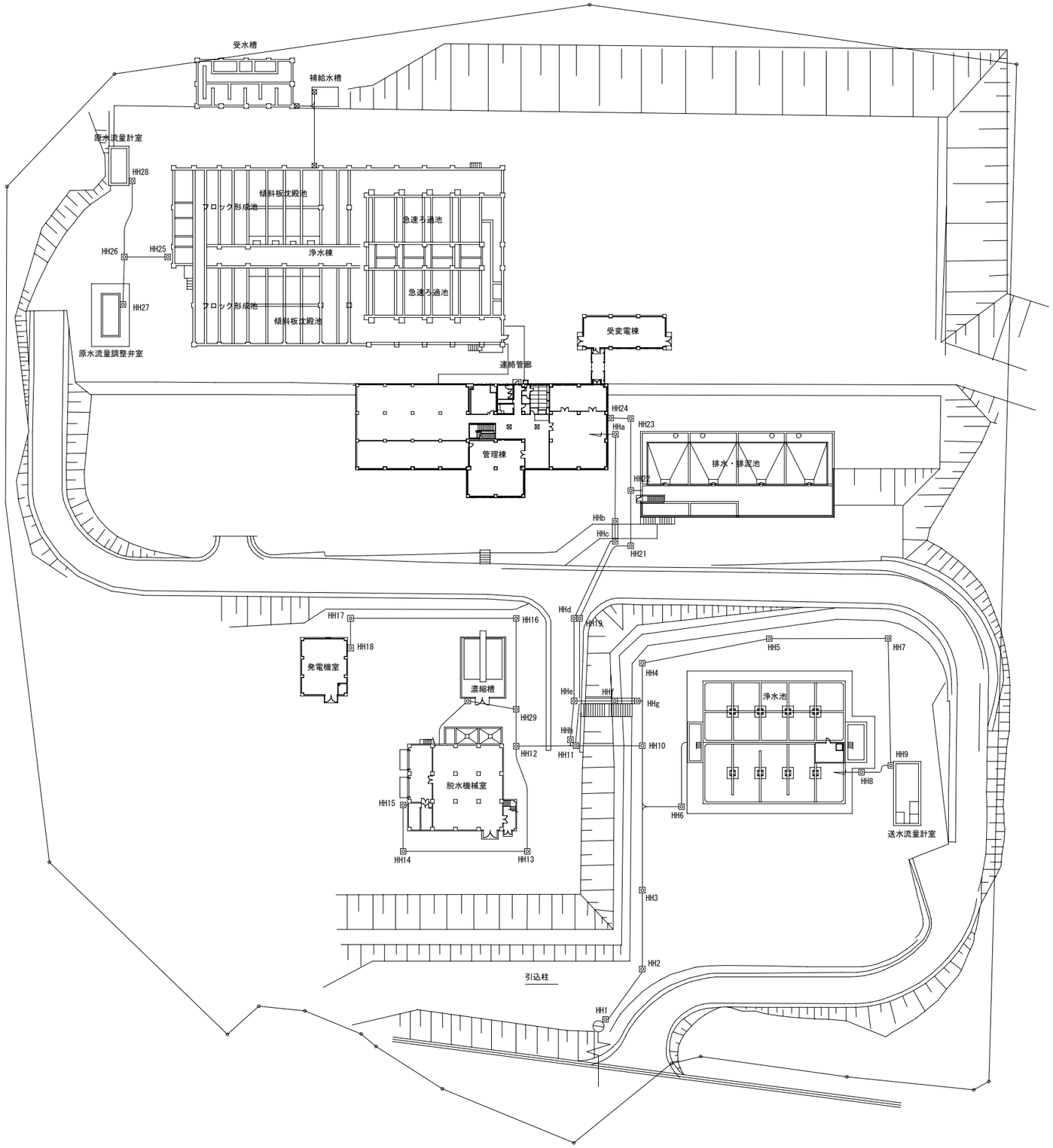
機器一覧表

番号	記　号	名　　称	備　考
①	LCB-1A5	No.1浄水池流入弁現場盤	既　設
②	LCB-1A6	No.1浄水池流出弁現場盤	〃
③	LCB-404	和賀第１配水池送水ポンプ／ 浄水池サンプリングポンプ現場盤	〃

注記）

1.　　は今回工事を示す。

事 業 名			
工 事 名	大興寺配水池 計装盤ほか更新工事		
図面名称	浄水池平面図（更新）		
縮　　尺	1/100	図面番号	２１／２８
事 業 者	岩手中部水道企業団		

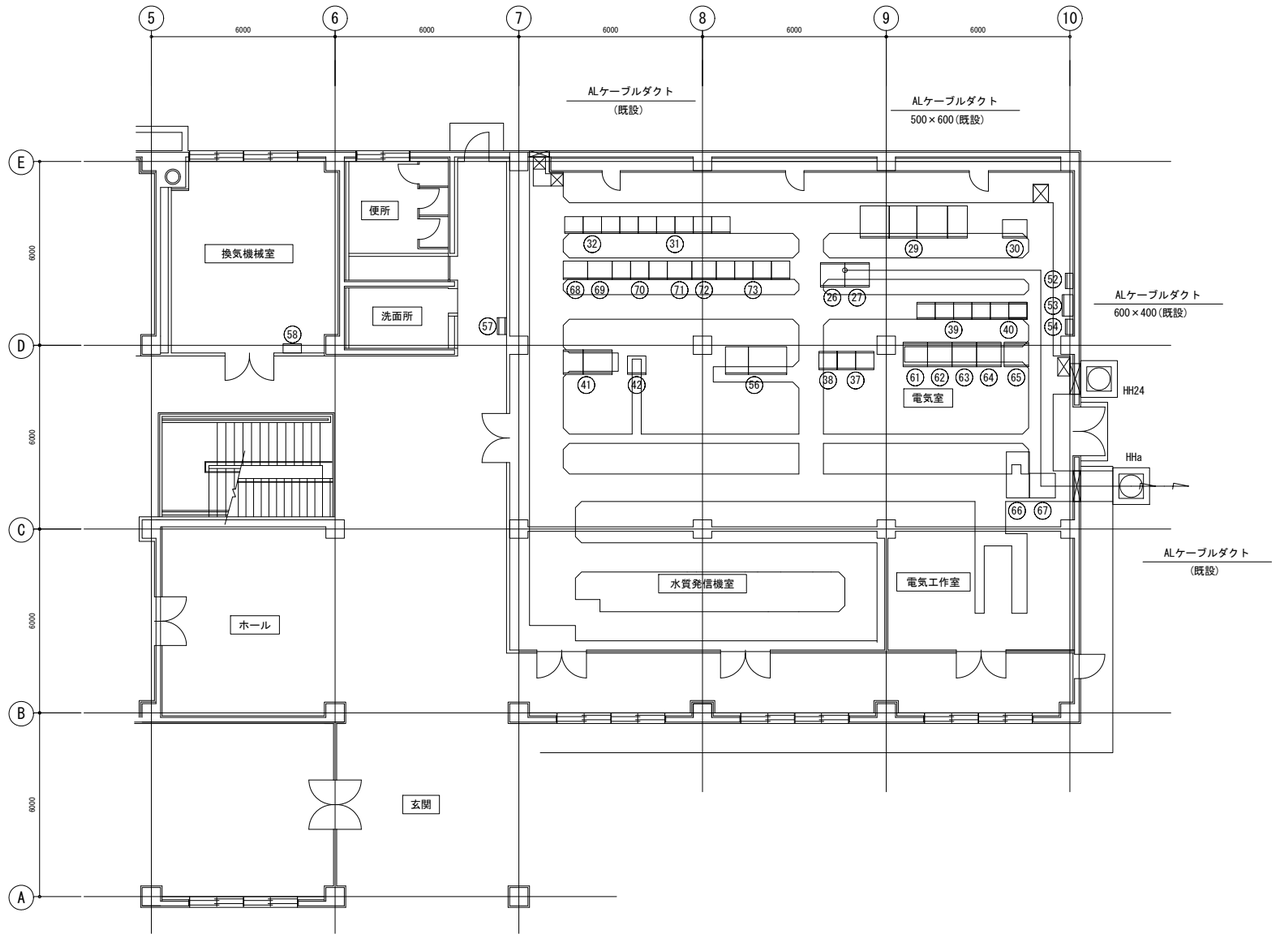


全体平面図　S=1/500

注記）

1. ▭ は撤去工事を示す。

事業名			
工事名	大興寺配水池 計装盤ほか更新工事		
図面名称	全体平面図（撤去）		
縮尺	1/500	図面番号	22 / 28
事業者	岩手中部水道企業団		



機器一覧表

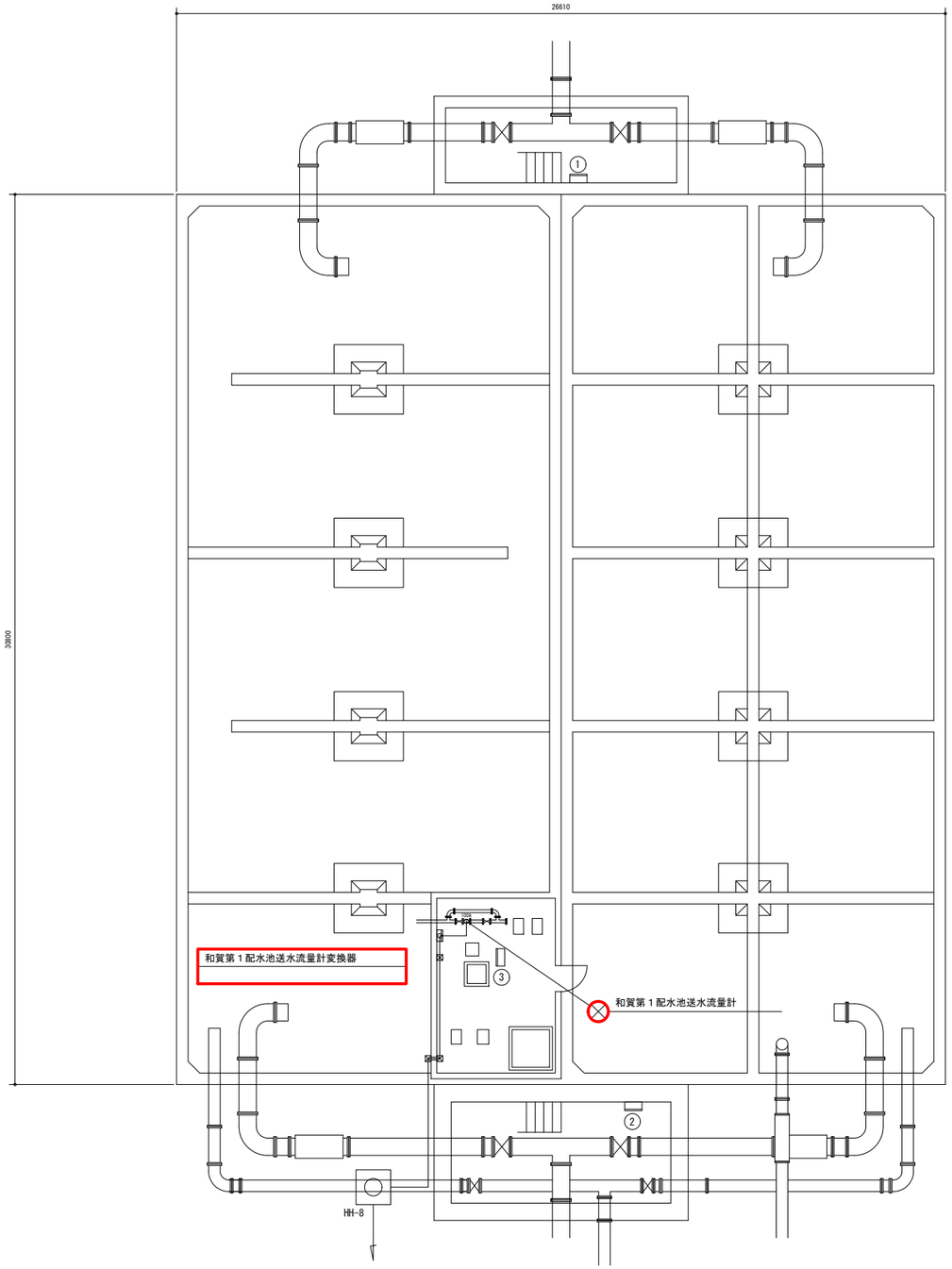
番号	記　号	名　　称	備　考
26	MK-1	計装変換器盤(1)	既　設
27	MK-2	計装変換器盤(2)	〃
29	CVCF-1～4	30kVA無停電電源装置	既　設
30	CVCF	電気室CVCF分電盤	〃
31	CC-1A	No.1水処理設備コントロールセンタ	〃
32	CC1AR1～R3	No.1水処理設備補助継電器盤	〃
37	CC-3	薬注設備コントロールセンタ	既　設
38	CC3R1	薬注設備補助継電器盤	〃
39	CC-2	排水汚泥設備コントロールセンタ	〃
40	CC2R1	排水汚泥設備補助継電器盤	〃
41	CC-BAT	直流電源装置盤	〃
42	TD	受変電変換器盤	〃
52		水質実験用接地端子箱	既　設
53		接地端子箱	〃
54		インバータ用接地端子箱	〃
56	CVCF	無停電電源装置(水質試験室)	既　設
57	L-1	管理棟電灯分電盤	〃
58	P-M	管理棟動力操作盤	〃
61	RCS-1	水処理設備コントローラ盤(1)	既　設
62	RCS-2	水処理設備コントローラ盤(2)	〃
63	RCS-3	排水・排泥設備コントローラ盤	〃
64	RCS-4	受変電・ポンプ設備コントローラ盤	〃
65		中継端子箱	〃
66	R-TB-1	受変電中継端子箱(動力)	〃
67	R-TB-2	受変電中継端子箱(制御)	〃
68	RY-2-1	排水排泥池設備補助継電器盤(1)	〃
69	RY-2-2	排水排泥池設備補助継電器盤(2)	〃
70	MCC-2-1～3	排水排泥池設備コントロールセンタ	〃
71	RY-4-1	ポンプ設備補助継電器盤(1)	〃
72	RY-4-2	ポンプ設備補助継電器盤(2)	〃
73	MCC-4-1～4	ポンプ設備コントロールセンタ	〃

注記)

1. [red box] は撤去工事を示す。

管理棟１階平面図　S=1/100

事 業 名			
工 事 名	大興寺配水池 計装盤ほか更新工事		
図面名称	管理棟１階平面図（撤去）		
縮　　尺	1/100	図面番号	２３ / ２８
事 業 者	岩手中部水道企業団		



浄水池平面図　S=1/100

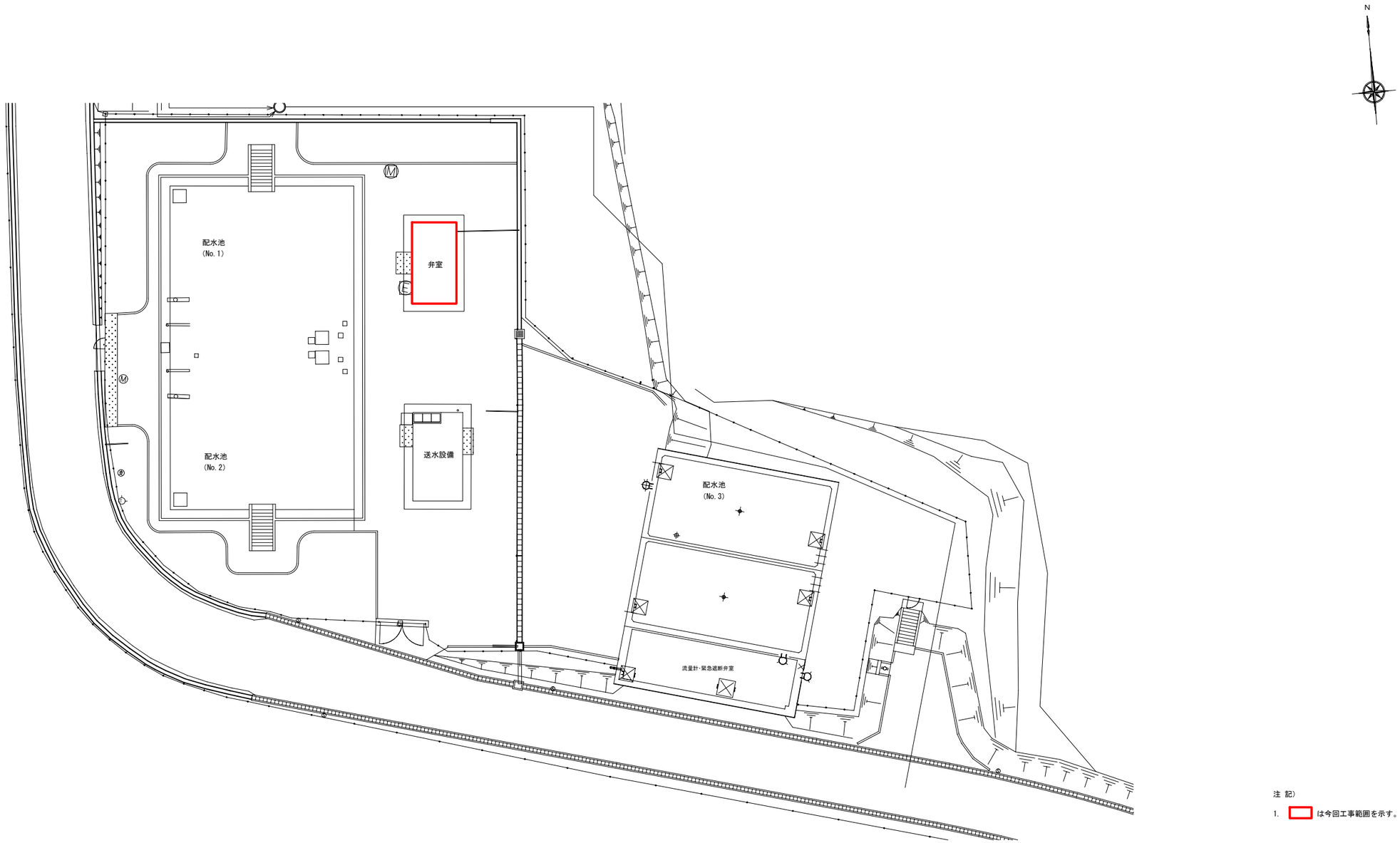
機器一覧表

番号	記　号	名　　称	備　考
①	LCB-1A5	No.1浄水池流入弁現場盤	既　設
②	LCB-1A6	No.1浄水池流出弁現場盤	〃
③	LCB-404	和賀第１配水池送水ポンプ／ 浄水池サンプリングポンプ現場盤	〃

注記）

1. ▭ は撤去工事を示す。

事 業 名			
工 事 名	大興寺配水池 計装盤ほか更新工事		
図面名称	浄水池平面図（撤去）		
縮　　尺	1/100	図面番号	２４／２８
事 業 者	岩手中部水道企業団		



片寄配水池　一般平面図　S=1/200

注 記)

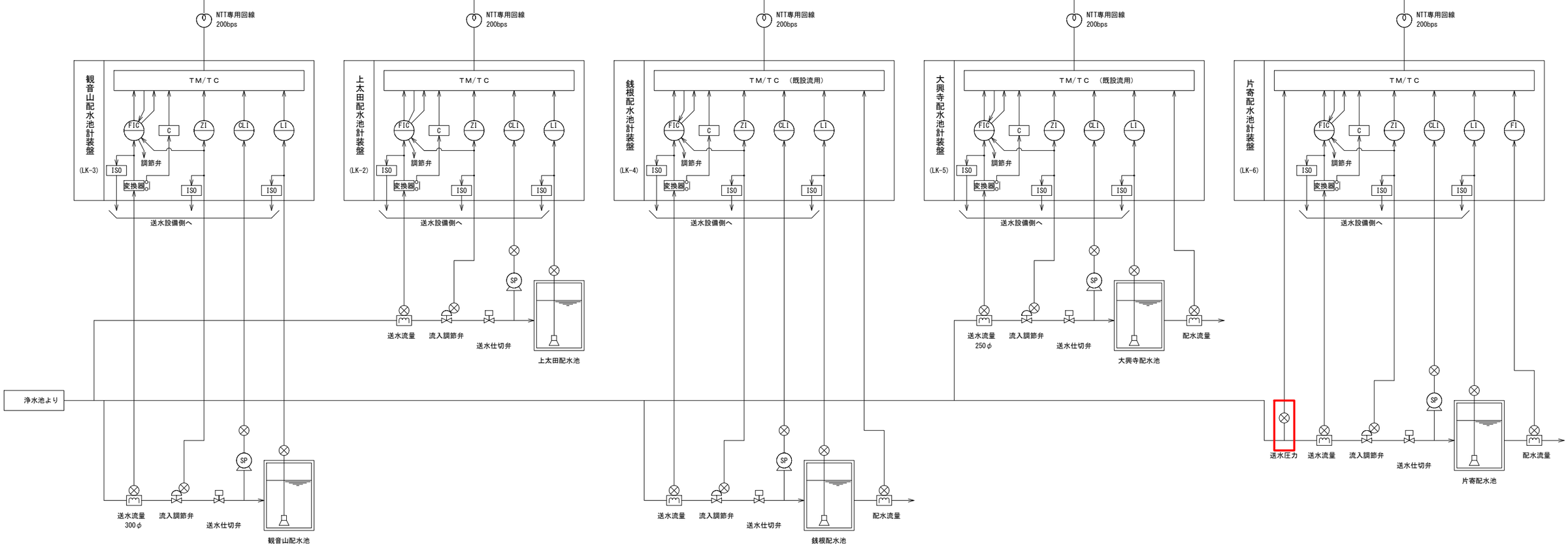
1. ▭ は今回工事範囲を示す。

事 業 名			
工 事 名	大興寺配水池 計装盤ほか更新工事		
図面名称	一般平面図		
縮　　尺	1/200	図面番号	２５／２８
事 業 者	岩手中部水道企業団		

計測項目		観音山配水池 送水流量	観音山配水池 送水流量設定値FB	観音山配水池 送水流量積算	観音山配水池 流入調節弁開度	観音山配水池 送水残塩	観音山配水池 配水池水位	上太田配水池 送水流量	上太田配水池 送水流量設定値FB	上太田配水池 送水流量積算	上太田配水池 流入調節弁開度	上太田配水池 送水残塩	上太田配水池 配水池水位
数量	既設	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	今回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	全体	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
中央操作室	帳票			○		○	○			○		○	○
	LCD表示	FIC	FQ	ZI	CLI	LI		FIC	FQ	ZI	CLI	LI	
テレメータ室	場外設備コントローラ盤(RCS-5)												
	テレメータ盤(1)(TM-1)	TM/TC						TM/TC					

計測項目		銭根配水池 送水流量	銭根配水池 送水流量設定値FB	銭根配水池 送水流量積算	銭根配水池 流入調節弁開度	銭根配水池 送水残塩	銭根配水池 配水池水位	銭根配水池 配水流量	大興寺配水池 送水流量	大興寺配水池 送水流量設定値FB	大興寺配水池 送水流量積算	大興寺配水池 流入調節弁開度	大興寺配水池 送水残塩	大興寺配水池 配水池水位	大興寺配水池 配水流量
数量	既設	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	今回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	全体	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
中央操作室	帳票			○		○	○				○		○	○	
	LCD表示	FIC	FQ	ZI	CLI	LI		FI	FIC	FQ	ZI	CLI	LI		FI
テレメータ室	場外設備コントローラ盤(RCS-5)														
	テレメータ盤(1)(TM-1)	TM/TC							TM/TC						

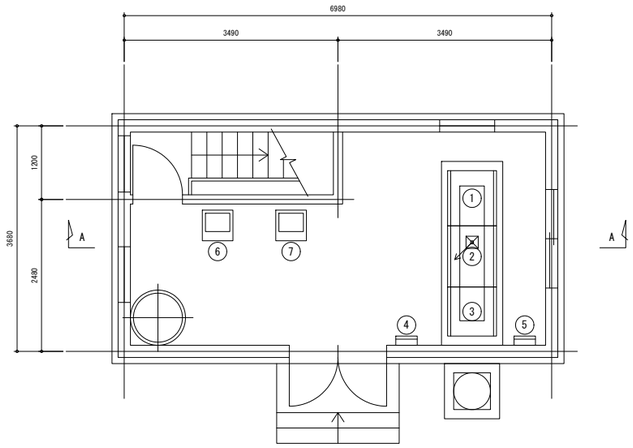
計測項目		片寄配水池 圧力	片寄配水池 送水流量	片寄配水池 送水流量設定値FB	片寄配水池 送水流量積算	片寄配水池 流入調節弁開度	片寄配水池 送水残塩	片寄配水池 配水池水位	片寄配水池 配水流量
数量	既設	1	1	1	1	1	1	1	1
	今回	1	0	0	0	0	0	0	0
	全体	1	1	1	1	1	1	1	1
中央操作室	帳票				○		○	○	
	LCD表示	PI	FIC	FQ	ZI	CLI	LI		FI
テレメータ室	場外設備コントローラ盤(RCS-5)								
	テレメータ盤(1)(TM-1)	TM/TC							



注記)

1. ［　］部は今回工事を示す。

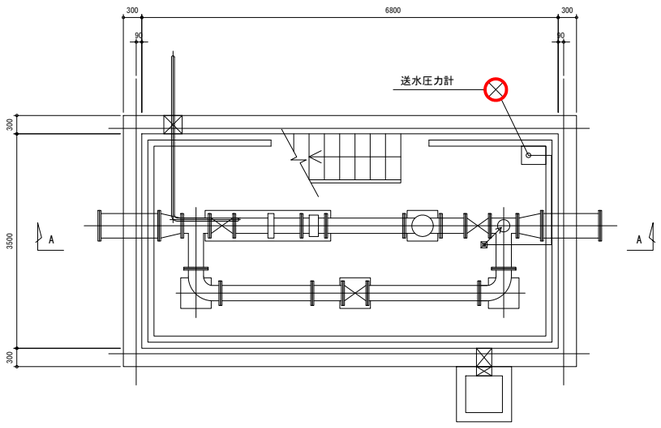
事業名			
工事名	大興寺配水池 計装盤ほか更新工事		
図面名称	計装フローシート		
縮尺	NONSCALE	図面番号	26 / 28
事業者	岩手中部水道企業団		



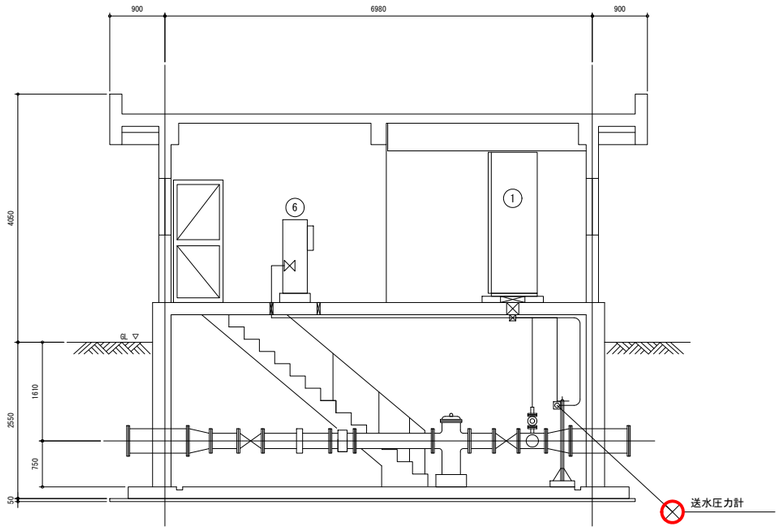
弁室　１階平面図　S=1/50

機器一覧表

番号	記　号	名　　称	備　考
1		計装盤	既　設
2		計装盤	〃
3		動力盤	〃
4		照明分電盤	〃
5		接地端子箱	〃
6		受水残塩計	〃
7		配水残塩計	〃



弁室　地下１階平面図　S=1/50

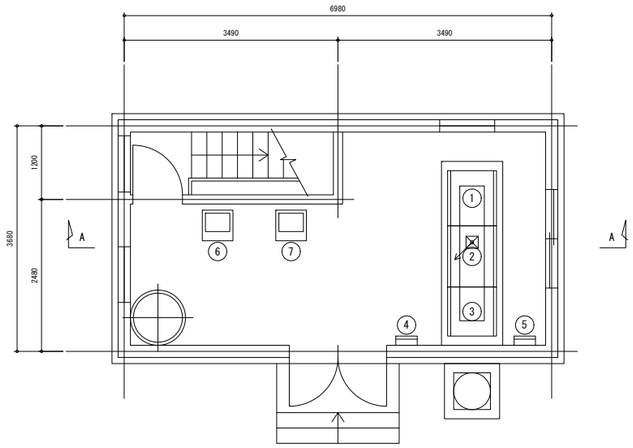


Ａ－Ａ断面図　S=1/50

注記）

1. 　　は今回工事を示す。

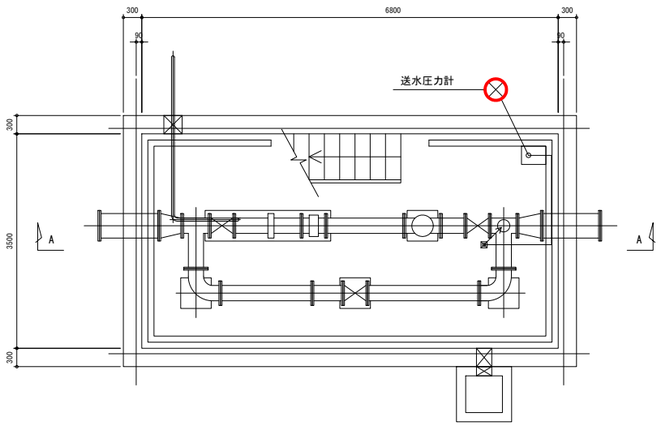
事 業 名			
工 事 名	大興寺配水池 計装盤ほか更新工事		
図面名称	弁室平断面図（更新）		
縮　　尺	1/50	図面番号	２７／２８
事 業 者	岩手中部水道企業団		



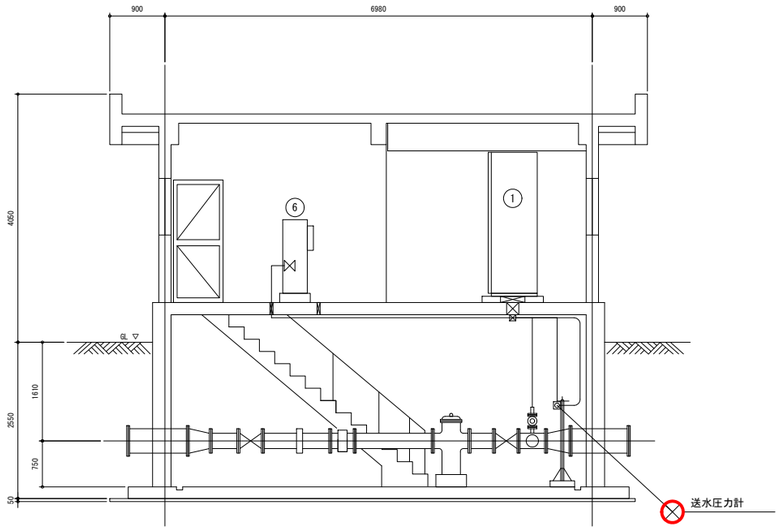
弁室　１階平面図　S=1/50

機器一覧表

番号	記　号	名　　称	備　考
1		計装盤	既　設
2		計装盤	〃
3		動力盤	〃
4		照明分電盤	〃
5		接地端子箱	〃
6		受水残塩計	〃
7		配水残塩計	〃



弁室　地下１階平面図　S=1/50



Ａ－Ａ断面図　S=1/50

注記）

1.　　は撤去工事を示す。

事 業 名			
工 事 名	大興寺配水池 計装盤ほか更新工事		
図面名称	弁室平断面図（撤去）		
縮　　尺	1/50	図面番号	２８ / ２８
事 業 者	岩手中部水道企業団		